



国際ロータリー第 2650 地区
社会奉仕委員会
2024-25 年度事業報告集

国際ロータリー第 2650 地区
2024-25 年度
社会奉仕委員会

ご挨拶

このたび、2024-25年度 国際ロータリー第2650地区社会奉仕委員会において、地区内クラブの皆さまが一年間にわたり取り組まれた社会奉仕事業の報告を一冊にまとめることができました。ご提出いただいた事業は87クラブ123事業にのぼります。ご尽力いただいた各クラブの社会奉仕委員長をはじめ、会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

本年度のRIテーマは「The Magic of Rotary（ロータリーの魔法）」でした。この“魔法”とは、ロータリアン一人ひとりの思いや行動が、地域や社会に温かい変化をもたらす力のことではないでしょうか。そして、それを持続的に發揮していくためには、組織としての学びと協働が不可欠です。

私たちの地区では、「持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動」というスローガンのもと、クラブの枠を越えて知恵を分かち合い、共に成長しながら地域社会の課題に向き合うことを目指してまいりました。社会奉仕委員会としても、奉仕の実践が一過性のものに終わることなく、地域と共に歩む“継続性”と“共感”的ある活動となるよう、各クラブへの情報提供や連携支援に努めてまいりました。

この報告集に収められた事業は、人間尊重、地域発展、環境保全、共同奉仕、防災支援、子どもの貧困、文化継承など、まさに多岐にわたります。それぞれの活動には、地域を想う真摯な気持ちと、仲間と共に行動する力強さが込められており、「ロータリーの魔法」が確かに息づいていることを実感いたしました。この報告集が次年度以降の奉仕活動のヒントとなり、さらに持続可能なロータリーの未来へつながっていくことを願ってやみません。

最後に、この一年、熱意と行動力をもって社会奉仕を推進された各クラブの皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2650地区

2024-25年度 社会奉仕委員会

委員長	宮倉 靖幸	(五條RC)	副委員長	桐木 孝和	(京都洛西RC)
副委員長	小牧 靖彦	(京丹後RC)	直前委員長	大島 國裕	(奈良RC)
委員	市原 洋晴	(宇治RC)	委員	木村 武史	(大津東RC)
委員	松村 美貴	(福井フェニックスRC)	委員	木村 元	(長浜東RC)
委員	藤井 弘美	(近江八幡RC)	委員	山崎 功詔	(京都西RC)
委員	寺本 光宏	(福井RC)	委員	八木 悠祐	(京都北RC)
委員	玉村 一男	(武生RC)			

目 次

【京都府】

綾部ロータリークラブ	… 1
福知山ロータリークラブ	… 2
福知山西南ロータリークラブ	… なし
亀岡ロータリークラブ	… 3
亀岡中央ロータリークラブ	… 4
京丹後ロータリークラブ	… 5
京都ロータリークラブ	… 6
京都伏見ロータリークラブ	… 7
京都平安ロータリークラブ	… 8
京都東ロータリークラブ	… 9
京都東山ロータリークラブ	… 10
京都北東ロータリークラブ	… 11
京都イブニングロータリークラブ	… 12
京都城陽ロータリークラブ	… 13
京都桂川ロータリークラブ	… 14
京都北ロータリークラブ	… 16
京都南ロータリークラブ	… 18
京都モーニングロータリークラブ	… 21
京都紫野ロータリークラブ	… 22
京都中ロータリークラブ	… 23
京都西ロータリークラブ	… 24
京都乙訓ロータリークラブ	… 25
京都洛中ロータリークラブ	… 26
京都洛北ロータリークラブ	… 28
京都洛南ロータリークラブ	… 34
京都洛西ロータリークラブ	… 35
京都洛東ロータリークラブ	… 37
京都嵯峨野ロータリークラブ	… なし
京都さくらロータリークラブ	… 41
京都西北ロータリークラブ	… 43
京都西南ロータリークラブ	… 47
京都紫竹ロータリークラブ	… 48
京都朱雀ロータリークラブ	… 49
京都田辺ロータリークラブ	… 50
京都山城ロータリークラブ	… 51
京都八幡ロータリークラブ	… 52
舞鶴ロータリークラブ	… 53
舞鶴東ロータリークラブ	… 54
宮津ロータリークラブ	… なし
園部ロータリークラブ	… 56

【福井県】

福井ロータリークラブ	… 62
福井あじさいロータリークラブ	… 63
福井フェニックスロータリークラブ	… 65
福井東ロータリークラブ	… 66
福井北ロータリークラブ	… 70
福井南ロータリークラブ	… 72
福井西ロータリークラブ	… 73
福井水仙ロータリークラブ	… 74
勝山ロータリークラブ	… 76
丸岡ロータリークラブ	… 77
三国ロータリークラブ	… なし
大野ロータリークラブ	… 79
鯖江ロータリークラブ	… 82
武生ロータリークラブ	… 83
武生府中ロータリークラブ	… なし
敦賀ロータリークラブ	… 86
敦賀西ロータリークラブ	… なし
若狭ロータリークラブ	… 87

【奈良県】

あすかロータリークラブ	… 109
五條ロータリークラブ	… 110
平城京ロータリークラブ	… 111
橿原ロータリークラブ	… 112
奈良ロータリークラブ	… 113
奈良東ロータリークラブ	… 115
奈良西ロータリークラブ	… 117
奈良大宮ロータリークラブ	… 118
桜井ロータリークラブ	… 119
大和郡山ロータリークラブ	… 120
やまとまほろばロータリークラブ	… 121
やまと西和ロータリークラブ	… 122
大和高田ロータリークラブ	… 123

【Eクラブ】

日本ロータリーEクラブ2650	… 124
-----------------	-------

【滋賀県】

びわ湖八幡ロータリークラブ	… 88
五個荘能登川ロータリークラブ	… 90
東近江ロータリークラブ	… 91
彦根ロータリークラブ	… 92
彦根南ロータリークラブ	… 93
甲賀ロータリークラブ	… 94
湖南ロータリークラブ	… 95
草津ロータリークラブ	… 96
守山ロータリークラブ	… 97
長浜ロータリークラブ	… なし
長浜東ロータリークラブ	… 98
長浜北ロータリークラブ	… 99
近江八幡ロータリークラブ	… 100
大津ロータリークラブ	… 101
大津中央ロータリークラブ	… 102
大津東ロータリークラブ	… 103

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 滝下亮好
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	「クリーン水無月」への参加協力				
実施日	2024年7月28日	↑継続事業の場合	20	年	
実施場所	丹波大橋付近由良川河川敷及び周辺				
協力団体	綾部ローターアクトクラブ				
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	58 %
	市民	約400		名	
	その他	市内事業所社員			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	<p>あやべ水無月まつり実行委員会（委員長：綾部商工会議所会頭）の協力呼びかけに応じ、あやべ水無月まつりの翌朝に行われる「クリーン水無月」に綾部ローターアクトクラブと共に参加して、打ち上げ花火の燃え殻等のゴミを拾って会場周辺の清掃を行いました。</p>				

事業結果	<p>20年来の継続事業です。揃いのロータリーキャップ・帽子着用、幟旗携行で綾部ローターアクトクラブメンバー6名とともに参加し、地域で活動するクラブのPRにもなったと思います。朝とはいえ1年で最も暑い時季ということもあってか出席率はやや低めでしたが、清掃終了後は現地においてアクターを含むメンバー全員で朝食（おにぎり・お茶）を取り交流を図りました。7時から約1時間の活動でしたが、多数の参加者によって小さな燃え殻まで回収され、会場となった由良川河川敷公園周辺は従前以上にきれいになりました。</p>  
新聞、TV等での報道	<p>市民新聞、FMローカルラジオで報道（あやべ水無月実行委員会全体として）</p>

事業予算	10,000	円
事業執行額	7,817	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 理事

氏 名 : 芦田 敦嗣

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	福知山中央図書館100周年記念事業「劇団なんじやもんじやのおじさんと大きな木」				
実施日	2024年7月20日（土）			↑継続事業の場合	年
実施場所	市民交流ぶらざ				
協力団体					
参加人数	会員	13	名 →→ 会員参加率	31	%
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

福知山中央図書館100周年記念事業劇団なんじやもんじやの「おじさんと大きな木」の開催に対して、ボランティアとしてお手伝いを行った。

事業結果

福知山の小学生低学年、幼稚園児、保育園児、未就学児に、いのちの大切さをテーマとした劇に協力し、青少年の健全教育に貢献することができた。

新聞、TV等での報道

両丹日々新聞

事業予算	0	円
事業執行額	0	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

亀岡

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 松下 義則

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	亀岡サッカーフェスティバル (U15)			
実施日	令和6年8月21日(水) ~23日(金)		↑継続事業の場合	年
実施場所	亀岡運動公園 陸上競技場			
協力団体	亀岡市サッカー協会			
参加人数	会員	32 名	→→ 会員参加率	%
	市民	280 名		
	その他			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

先生の働き方改革・少子化生徒数減少により中学校部活動の維持が難しく地域クラブへの移行が必要となっている状況を支援する為、亀岡市市内中学生を対象に日頃使用できない芝生グランドで練習・試合・交流の場として亀岡サッカーフェスティバルを実施します。岡市内5つの中学校とサッカークラブ3チームにサッカーボール55個の寄贈セレモニーの実施

上記8チームでの交流試合の実施・企画

事業結果

地域の青少年の健全育成・スキルアップ

先生の働き方改革、少子化生徒数減少により、中学生部活動の維持が難しく、地域クラブへの段階的な移行に繋がっていく事が期待できる。

新聞、TV等での報道

京都新聞にて報道



事業予算	520,178	円
事業執行額	517,208	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 有田 聖規

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	青葉学園との交流事業							
実施日	2024年11月16日	↑継続事業の場合			17 年			
実施場所	社会福祉法人青葉学園 校舎・他							
協力団体	チーム中央（亀岡中央ロータリークラブ・サポートチーム）							
参加人数	会員	13	名	→→ 会員参加率	77 %			
	市民	39	名					
	その他							
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

社会福祉法人青葉学園（児童養護施設）の子供たちと職員の皆さんと継続事業のボーリング大会を開催致しました。4～5人チームで亀岡中央RC会員も交え、老若男女楽しめるスポーツなのでよい交流関係が築け昔変わらぬ遊びとしても経験して頂き、大会終了後には 食事・懇親会を開き、順位の結果発表をして子供たちに、皆の前で一言喋る緊張感など笑いのある食事の中でも打ち解けいける事業である。子供たちの楽しみの一つとして、将来の理想の大人となるチーム亀岡中央として、これからも当クラブは、この事業を継続し青葉学園の心の安らぐ時間を提供できるように支援してまいります。

事業結果

大勢の青葉学園の子供たち、職員の皆様に参加していただき、楽しみ、喜んで頂いている事をチーム亀岡中央のメンバーもうれしく思います。継続事業となるとは継続するということが難しく、今年度は 動画を撮影、編集しプレゼントさせて頂きました。小さな変化を加え研鑽・経験し、奉仕事業の枠を少しでも広げられました。

新聞、TV等での報道

事業予算	260,000	円
事業執行額	259,786	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 伊東慶吾
 担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	おはなしフェスティバル							
実施日	2025年5月18日	↑継続事業の場合			3 年			
実施場所	峰山総合福祉センター							
協力団体	みかんの木文庫							
参加人数	会員	12	名 →→ 会員参加率	80	%			
	市民	117	名					
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他							

事業目的及び事業内容

地域の子ども達の感情表現・共感力・想像力を育むことを目的として、読み聞かせグループ「みかんの木文庫」との協同による人形劇「三つの願い」やタオルを使って動物や野菜などを作ったり一緒に歌う「タオルであそぼ」を開催しました。また地域の社会福祉法人に協力を依頼し、キッチンカーに来てもらい当日参加した方へお菓子やジュースを無料で配り、全体の満足度向上を図りました。

事業結果

公演中、子どもたちから感情表現や共感的な態度が見られる場面も多く、人形劇やタオルを使った遊びや物語を通じて、登場人物への感情の共感や状況を理解し、想像力に刺激を与えたと感じ、事業目的に沿った効果が得られたものと思います。



新聞、TV等での報道

報道関係には連絡はしましたが本年度の取材はありませんでした。

事業予算	380,000	円
事業執行額	319,641	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024–25年度

京都

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 佐々木晃

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕委員会担当 クラブフォーラム		
実施日	2024年10月7日	↑継続事業の場合	年
実施場所	ホテルオークラ京都、鴨川河川敷		
協力団体			
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名	%
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

本年度の社会奉仕活動として、地域環境と文化への理解を深めることを目的に、鴨川を美しくする会 事務局長 杉江達也氏をお招きし、「鴨川の現状と美化活動」についての講演会を開催。加えて、実地体験として会長幹事はじめ、会員有志で鴨川クリーンハイクにも参加し、地域貢献と自然保全の大切さを実感した。



事業結果

杉江氏の講演では、鴨川の美化活動が市民主体で50年以上続いてきた背景や、維持の難しさ、環境保全の継続性の重要性について、現場の視点から具体的なお話を伺うことができた。参加会員からは、「地域貢献のあり方を考え直す良い機会になった」「自分たちにできることから継続して取り組みたい」といった声が寄せられた。

また、講演後に実施したクリーンハイクでは、観光都市・京都の課題である景観保持やマナー向上にも関心が広がり、実体験による学びの大きさが印象に残った。

今後は、継続的な活動への参加のみならず、次世代を担う若い世代にもこうした活動の価値を共有し、地域と連携した奉仕活動の輪を広げていきたい。

新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答 可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 稲垣 佳孝
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	みんなで学ぶスポーツの輪in呉竹				
実施日	2024年11月20日 (水)	↑継続事業の場合 年			
実施場所	京都市立呉竹総合支援学校				
協力団体					
参加人数	会員 32 名	→→ 会員参加率 35 %			
	市民 名				
その他	京都市立呉竹総合支援学校 生徒及び教職員				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

支援学校に通う子供達が簡単に扱える運動器具を寄贈させて頂き、その器具を使いロータリアンと生徒達が共に汗を流し、共に楽しみながらスポーツを通して交流を図り、子供達の心身の健全な成長を促す事を目的とした事業です。集中力を養うのに有効なボッチャ、心肺機能を高めるのに有効なジャンプ＆スプリングマット、集団で遊ぶ楽しさを学ぶエアボール・パラシュート、声の出しにくい子供達のコミュニケーションツールとしてのビックステップバイス テップの4種の器具を寄贈しました。

事業結果

支援学校に通う子供達が普段関わることのない初対面の大人達とふれあい、子供達は教職員の方々でも初めて見るような笑顔や表情を見させてくれました。また、子供達にとって大人達と一緒にスポーツを通して事業を成し遂げて行くという経験は彼らが将来社会に出た時に必ず役に立つものであると感じております。



新聞、TV等での報道

2024年12月2日京都新聞・朝刊に掲載されました

事業予算	839,727 円
事業執行額	792,840 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 幹事
 氏 名 : 藤本 佳子
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都平安ロータリークラブ 障害者スポーツ体験会							
実施日	2024年9月15日 (日)	↑継続事業の場合			2 年			
実施場所	京都市障がい者スポーツセンター							
協力団体	京都府フロアバレーボール協会							
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	75 %			
	市民	80	名					
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

障害者スポーツ体験会を開催し、フロアバレーなどの障害者スポーツを体験するイベントを行いました。障害を持つ方と接する機会というのもなかなかない中で、どのように接したら良いのか不安に思われる方も多いと思います。まだまだ知名度の低い障害者スポーツですが、この体験を通してこの競技のすばらしさを知ってもらうことを目的として今事業を行っております。またわかさ生活さんにもご協力頂き、視覚障害者向け機器の展示、体験会も行いました。



事業結果



今回、「障害者スポーツ体験会」として、ひとつにフロアバレーを体験しましたが、彼らの熱気、迫力は「障害」というものを全く感じないものでした。今回多くの人にこの体験をしてもらつたことで、この競技の大変さや面白さを伝えるきっかけとなつたと思います。障害者スポーツの一つとして、この競技が周知されることの一助となるよう今後も今事業を継続して参りたいと思っております。また、今年は函館からフロアバレーのチームも参加してくれました。全国各地の様々な地域からも参加してもらえるように今後も力を入れていきたいと考えております。

新聞、TV等での報道



事業予算	400,000	円
事業執行額	344,176	円

この事業の主な財源
(複数回答可) 地区補助金 グローバル補助金 クラブ資金 クラブ以外からの寄付 その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 丸中良典

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	健康寿命延伸のため呼吸法・歩行運動法指導健康教室の開催並びに吉田山散策路案内板の寄贈				
実施日	2025年3月8日			↑継続事業の場合	年
実施場所	吉田神社				
協力団体	吉田山の里山を再生する会				
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	30 %
	市民	10	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

日本における平均寿命は男性81.4歳・女性87.4歳であり、健康寿命は男性72.7歳・女性75.4歳である。平均寿命と健康寿命の間にはおよそ10歳ほどの違いがあり、健康寿命の延伸こそが健全な社会を築く基礎となる。日本国内の65歳以上の高齢者（約3,600万人）のうちフレイルは約310万人で、その前段階であるプレフレイルは1,800万人と推計されており、京都市においても高齢化とフレイルおよびプレフレイルの状態にある方々の割合が増え続けている。健康寿命の延伸を実現させるためにはフレイル・プレフレイル状態からの脱却が最重要課題である。健康寿命延伸のため、地域住民の方々に身近でかつ実施しやすい健康寿命延伸法を知っていただくとともにその実践のために、健康寿命延伸のための健康教室による歩行運動法指導健康教室を開催する。

事業結果

健康教室「10歳若返る！インターバル速歩－人生これからが面白い－」を聴講した方が今後このインターバル速歩をさらに地域住民の方々へ広めようと吉田山付近以外の地域での実践活動に入る動きが見られていて、持続的な健康増進に役立てられることが考えられる。また、吉田神社に設置した「吉田山健康散策図」を吉田神社を訪れる多くの方が見ており、吉田山散策法が今後多くの方々の健康増進に役立っていくと考えられる。「吉田山健康散策図」には、京都東ロータリークラブのホームページにアクセスするQRコードを掲載しており、このQRコードより京都東ロータリークラブのホームページ上に掲載されている「吉田山健康散策図」を閲覧して、吉田山の散策路をいかに健康増進に生かすかに関する記述を読むことで、地域に存在する吉田山の積極的な健康増進法を地域住民が体験するという地域と京都東ロータリークラブが一体となった取り組むを実施し、社会に大きな貢献を行った。



事業予算	735,704	円
事業執行額	735,704	円

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他
----------------------	---	-----------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 寄本 猛

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	つづる、つなげる、ロータリーの物語を・・・～今、新たなページがはじまる～						
実施日	9月1日～11月12日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	陵ヶ岡小学校・琵琶湖疏水乗船場（蹴上港～三井寺港）・琵琶湖疏水山科乗下船場						
協力団体	京都市上下水道局・京都市教育委員会・京都市						
参加人数	会員 市民 その他	45 1500 名	名	→→ 会員参加率 81 %			

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

■事業の目的■

「そすいさんぽ」整備事業看板設置に協力する。小学校の子どもたちへの出前授業と琵琶湖疏水船の乗船を体験をしていただくことにより、疏水の歴史や役割について理解を深めていただき、疏水とともに歩む京都をもっと感じていただく。「つづる、つなげる」をテーマに、事業（ロータリーの物語）の足跡を遺すとともに、今後積み重ねていけるよう布石を打つ

■事業内容■

- 1) 琵琶湖疏水探検マップの教材の作成・京都市の公立小学校4年生全児童と疏水記念館に寄贈
- 2) 陵ヶ岡小学校4年生への出前授業
- 3) 陵ヶ岡小学校4年生児童を琵琶湖疏水船の教育乗船に招待
- 4) 琵琶湖疏水山科乗下船場付近に「そすいさんぽ」案内看板の設置及び除幕式の実施

事業結果

・作成した琵琶湖疏水探検マップの教材を使い小学校に出前授業に行き、大変興味深くこちらの話を聞いていただき、最後に時間内にすべての質問にお答え出来ないくらいの質問をしていただきました。
 京都や地元地域の良い所をもっと知り、将来地域に貢献できる人になっていただきたいと伝えました。
 出前授業の後日、実際に琵琶湖疏水乗船を体験いただき授業で学んだことを乗船で体験したことにより、さらに琵琶湖疏水に対する理解が深まり、水のありがたさや大切さを感じただけたと思います。
 また、琵琶湖疏水山科乗下船場付近に「そすいさんぽ案内看板」を設置（京都市上下水道局様へ寄贈）させていただき、その除幕式を京都市の各関係者をご来賓でご出席いただき、執り行わせていただきました。琵琶湖疏水の事をもっと皆様に知っていただき大切にしていかなければならないという意識を持ち、今後発展していく京都の未来へとつなげていこうという行動に繋がると信じています。



新聞、TV等での報道

■2024.11.16 京都新聞朝刊に掲載
 「琵琶湖疏水沿線の散策道を紹介する看板の寄贈除幕式」



事業予算	1,424,370	円
事業執行額	1,424,370	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 吉田昌司
 担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	宝ヶ池公園散策路 誘導看板及び案内看板 取替事業							
実施日	2024年10月9日 (水)	↑継続事業の場合			2 年			
実施場所	宝ヶ池公園							
協力団体	京都市建設局 左京土木みどり事務所							
参加人数	会員 8 名 →→ 会員参加率 50 %							
	市民 0 名							
	その他 4							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他							

事業目的及び事業内容

前年度の「宝ヶ池の森散策道の案内板設置事業」に続く第二段として京都市からの強い要望もあり、当クラブのホームグランドである宝ヶ池公園（池側）の散策道の老朽化した誘導看板と案内版（禁止事項等）の取替を行う。看板を新しくすることで宝ヶ池公園のすばらしさを感じていただき、多くの方に自然環境の保全や再生の大切さを実感していただき、より良い社会づくりに貢献する。

事業結果

地元密着型の事業として当クラブの認知度、知名度が上がりました。引き続き公園内の整備、植樹等の奉仕事業計画に繋がりました。



新聞、TV等での報道

事業予算	530,860 円
事業執行額	530,860 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 中野種樹
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	やまびこ支援プロジェクト				
実施日	2024年9月12日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	特定非営利法人やまびこ				
協力団体					
参加人数	会員 6 名	→→ 会員参加率 46 %			
	市民 17 名				
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容	<p>テリトリー内、大山崎町で障がい者施設（利用者12名）へ卓球バレー一台一式贈呈。卓球バレーは障がい者スポーツの一種で同施設では利用者のリクレーションとして行われています。施設は地域に根ざした障がい者施設であるが、基部備品が老朽化していたが財政的にはゆとりなく、支援の必要性を感じました。贈呈式終了後参加ロータリアンと障がい者と親善ゲームを行いました。</p>				
------------	---	--	--	--	--

事業結果	<p>本プロジェクトを実施した結果、やまびこが行っている障がい者自立支援プログラムがより魅力的なものとなり、障がい者に優しい街づくりの一助となることを期待しています。</p> 				
------	--	--	--	--	--

新聞、TV等での報道					
------------	--	--	--	--	--

事業予算	233,098 円				
事業執行額	233,098 円				
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏名：市原光則

担当委員会名：社会奉仕委員会

事業名	こども食堂へお米を配給				
実施日	令和6年8月27日(火)・28日(水)	↑継続事業の場合	2	年	
実施場所	京都府城陽市6カ所および久御山町1カ所				
協力団体	なし				
参加人数	会員	5	名	→→ 会員参加率	20 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

最近のお米不足の報を聞き、当クラブ会員(職業:農業)の方の協力を得て、こども食堂全7カ所へ合計360kgのお米を配達した。

事業結果

お米不足の影響もあり、
こども食堂を運営されて
いるスタッフの皆さんに
大変喜んでいただいた。



新聞、TV等での報道

令和6年8月29日(木)付
洛タイ新報に掲載された。



レーライスクなび、ご参
ものをメインに参加者
に提供しています。お
米は涼しい所に保管
して大切に使わせてい
ただきます」と丁重に
お礼の言葉を伝えた。
今回のお米の提供
先是「きずな子ども
食堂」のほか▼城陽
市母子寡婦福祉会▼
NPO法人ひと・ま
ち・ジャパンクションの
このく村▼文化パルク
城陽レストラン「星
待ちキッキン」▼NP
O法人優人▼今池子
供食堂ゴリゴリ▼N
原社会奉仕委員長

P-O法人安心サポート
センター-NewF
mi-Yママズ&ペ
スの力所。

年度ごとに代わる
会長方針に基づくこ
との、京都城陽RC
は米分に限らず、
運営いただいていく
方々を援助したいと
と持続した支援を
動に意欲を示してい
る。

【写真】「きずな
ども食堂」にお米
届ける谷村会長と

事業予算	0	円
事業執行額	0	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 末永 寛

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	第6回「心の絵」展			
実施日	2025年1月25日（土）～31日（金）	↑継続事業の場合	6	年
実施場所	岡崎みやこめっせ			
協力団体	京都市立西総合支援学校、京都市東総合支援学校、ju:彩ギャラリー、アトリエやっぽう、むくの木の5施設から66名の作者による87点の作品			
参加人数	30 市民 その他	名 →→ 会員参加率	78.9	%
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

当クラブは、京都府下の障がい者施設において、日々アート作品の創作に励んでいる障がい者の作品の発表の場を提供させていただきたいと考えています。描きたいという純粋な衝動から生まれた作品は既成の価値観や評価、名声などにとらわれない自由な心の絵です。その作品の生の力は、人々に純粋な感動と力を与えてくれます。その感動と力で、障がい者と社会がよりしなやかで強い絆で結ばれることをこの展覧会の目的と考えています。そして、今後わずかつづでも障がい者アートへの理解が深まり、障がい者の社会参加が着実に進むことを願ってこの活動を企画いたしました。社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会と協力して、奉仕プロジェクト事業として行いました。

事業結果

今回は参加5施設から66名の作者の87点の作品が集まり、岡崎みやこめっせの会場には463人の来場者が訪れました。初回から数えて6回目になる今回は施設側の作品選定やキャプション原稿も順調で、先生方に余分な負担をかけることなく準備ができ、最後に相応しく素晴らしい展覧会になりました。可愛い作品から大作までの力作が、窓が大きくて見晴らしがよく明るい会場で、色鮮やかに映え、来場者の方にもじっくりと鑑賞していただけたと思います。この6年間で培ったご縁は確かに根付いていたのか、最後になった「心の絵」展を惜しんでいただく声も、父兄や先生方からたくさん聞くことができました。もし機会があればいつの日か違った形であっても、人を笑顔にできる奉仕活動を始めていきたいと思いました



事業予算	円
事業執行額	円

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他
----------------------	---

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 末永 寛

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	京都桂川ロータリークラブ杯パラスポーツ（ボッチャ）大会			
実施日	2024年10月19日（土）	↑継続事業の場合	3	年
実施場所	京都市立西総合支援学校 体育館			
協力団体	西京社会福祉協議会、障害者スポーツ振興会			
参加人数	会員 市民 その他	10 80 名	→→ 会員参加率 26.3 %	

事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他
------	---------------------------------	--	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

事業目的及び事業内容

パラスポーツである「ボッチャ」は年齢や性別、障がいの程度に制限されずに誰でも参加して楽しみ競い合うことが出来るスポーツであります。地域ではまだ未知のスポーツであるので認知に努め、障がい団体や支援学校に多くの参加をよびかけ啓蒙・普及に寄与し、参加者の交流、親睦を深める。

事業結果

今回3回目になる大会ですが、西京社会福祉協議会と京都障害者スポーツ振興会の協力のもと12カ所の障害福祉施設より、手話通訳、付き添いの家族を含め約80名程の参加で開催されました。三田会長の開会式のあいさつの後、ボッチャのルール説明と3チームでのリーグ戦を行い、各コートの勝者4チームによるトーナメント戦を行いました。各コートで時々歓声が上がり、皆さん時間と共に競技に熱が入り楽しんでいただいたかと思います。閉会式では、三田会長より各チームに賞状と副賞を贈呈し、最後に西京社会福祉協議会の小森会長のあいさつで12時頃に終了いたしました。



新聞、TV等

事業予算	443,400	円
------	---------	---

事業執行額	405,196	円
-------	---------	---

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他
----------------------	---	-----------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 藤田典生

担当委員会名 : 社会奉仕・青少年奉仕

事業名	京都の文化・京菓子作りと茶道を体験しよう子ども塾				
実施日	2024年10月5日		↑継続事業の場合		年
実施場所	八つ橋庵かけはし、裏千家茶道研修会館				
協力団体					
参加人数	会員 市民 その他	14 79 名	名	→→ 会員参加率 22 %	
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	<p>子どもたちに和菓子作り体験と茶道のお茶席体験を通して、京都における和菓子の仕組みや役割について知ってもらうことを目的とする。また、和菓子とともに発展してきた茶道の大切さに触れ、その心を学ぶことで、茶道の精神が今後の小学生生活における心のよりどころとなることを願う。</p>				

事業結果	<p>小学生とその保護者をバス2台で「八つ橋庵かけはし」まで送迎し、和菓子作り体験を行った。参加者は思い思いに工夫を凝らしながら和菓子を自作した。昼食後は、自分で作った和菓子を手にバス2台で「裏千家茶道会館」へ移動。会館では、保護者と向かい合うように座り、親子でお茶を点て合い、自作の和菓子とともにお茶をいただく体験を行った。自分で作った和菓子を持参してお茶席に臨むという体験は、参加者にとって特別なものとなり、親子で向き合ってお茶を点て合う場面も非常に好評だった。参加者全員から「貴重な体験ができた」との高い評価をいただき、大変有意義な一日となった。</p>				
------	--	--	--	--	--



新聞、TV等での報道	<p>チラシを作成し上京区の小学校に配布した。</p>				
------------	-----------------------------	--	--	--	--



事業予算	800,000 円				
事業執行額	849,630 円				
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 藤田典生
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	下鴨こどもしょくどうへの支援			
実施日	2025年2月8日	↑ 継続事業の場合		年
実施場所	下鴨こどもしょくどう			
協力団体	なし			
参加人数	会員 市民 その他	4 10 名	名	→→ 会員参加率 0.06 %
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			
事業目的及び事業内容				

下鴨こどもしょくどうは、食物アレルギー対応に非常に力を入れて運営されてる。「子どもの体をつくるのは食べ物から」という理念のもと、どんな食物アレルギーを持つ子どもでも、その場で完全に対応した食事を提供している。この取り組みは、一人での利用や父子家庭などにも大変役立っており、多くの家庭にとって大きな支援となっている。数あるこども食堂の中でも、下鴨こどもしょくどうは非常に貴重な存在であり、その活動を支援することの重要性は非常に高いと感じている。

事業結果	
<p>月第2・第4土曜日に開催される下鴨こどもしょくどうに、2月の第2土曜日に参加した。当 日は、参加者会員全員でグルテンフリーのアレルギー対応食としてベジタブルカレーと野 菜サラダをいただき、その後、米粉を使ったショートケーキを楽しんだ。その後、ボラン ティアスタッフの皆さんの協力を得て、当クラブからの寄付金30万円をお渡しした。また、 5月10日に開催される開設200回記念の際には、さらに充実したメニューを提供し、より多 くの子どもたちに喜んでもらえるよう努めることをスタッフの皆さんと約束した。</p>	



新聞、TV等での報道	なし
------------	----

事業予算	300,000	円
事業執行額	300,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長
 氏 名 : 西脇眞次
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	付き添い入院家族支援			
実施日	2024年8月～2025年6月	↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都府立医科大学 小児医療センター			
協力団体	認定NPO法人キープ・スマイリング			
参加人数	会員 27 名 →→ 会員参加率 10.4 %			
	市民 12 名			
その他	延べ参加人数：会員50名、市民（会員企業の社員、出演者。受益者除く）14名			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

京都府立医科大学の小児医療センターで長期入院中の患児に四六時中付き添うご家族へ、京都南RC会員企業が提供する美味しいとて、栄養バランスのとれた、季節を感じられるお弁当とお菓子をお届けするとともに、病棟内でミニコンサートを開催し、入院中の親子が笑顔に、そして元気になっていただけるようご奉仕させていただく。

事業結果

【ミールサポート】

京都府立医科大学小児医療センターで長期入院中の患児に付き添うご家族へ、飲食関連の会員企業ご提供のお弁当とお菓子を8月から6月まで毎月1回、合計11回お届け。ご家族からは沢山の感謝のメッセージをいただきました。

【初夏の癒しコンサート】

患児とご家族に、ほんのひと時、心の癒しを感じていただければと、「Le Collage」さんによる素敵なお演奏をお届けしました。久しぶりに外の空気に触れ、季節を感じられた方も多かったです。



新聞、TV等での報道

京都新聞、KBS京都ラジオ（笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ）、KBS京都テレビ（きょうとDays）



事業予算	1,136,400 円
事業執行額	1,091,820 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 西脇眞次

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	まあいいかCafe～注文をまちがえるリストランテ						
実施日	2024年11月4日および2025年3月16日			↑継続事業の場合 年			
実施場所	ムッシュいとう「SALA LUCE」						
協力団体	まあいいかlaboきょうと						
参加人数	会員	34	名	→→ 会員参加率	13.1 %		
	市民	124	名				
	その他 延べ参加人数：会員42名、会員家族等23名、一般114名、ボランティア31名						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

「まあいいかcafe～注文をまちがえるリストランテ」とは、認知症の人がホールスタッフを務めるレストラン。注文を間違えても、誰も腹を立てたり、不快に思ったりすることなく、その場にいる皆が笑顔で楽しい気分になれる、とても素敵なレストランです。認知症の方には、働くことや人の役に立つことの喜びを、来店者には間違えることを受容する寛容の心の大切さを味わっていただきます。

事業結果

まあいいかlaboきょうと様との共催で、認知症の方がホールスタッフを務める「まあいいかcafe」を2回開催しました。認知症の方が生き生きと働かれる姿や、その様子を温かいまなざしと笑顔で見守る来場者や支援ボランティアの皆様が生み出す、とても素敵な空間と時間を楽しむことができた事業でした。



新聞、TV等での報道

読売新聞

事業予算	260,000	円
事業執行額	232,100	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024–25年度

京都南

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 西脇眞次

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	南の風基金からの支援金の授与						
実施日	2024年10月3日、2025年5月8日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	ホテルグランヴィア京都 例会場						
協力団体	なし						
参加人数	会員	259	名	→→ 会員参加率	100 %		
	市民		名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

京都南ロータリークラブ独自の基金である「南の風基金」の目的は、スポーツ・文化・芸術の各分野で優れた才能をもつ京都市在住の若者の活動を資金面から支援することです。

事業結果

以下の3名に支援金を授与し、2024年10月3日と2025年5月8日の例会で卓話をしていただいた。

- 1) 音楽分野：井上帆乃香さん（チェロ奏者）
- 2) 美術分野：松野夏子さん（日本画家）
- 3) スポーツ分野：藤原芽花さん（パラアスリート）

新聞、TV等での報道

なし

事業予算	900,000	円
事業執行額	900,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

京都モーニング

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 新納 麻衣子

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	2024-2025年度社会奉仕事業						
実施日	2025年4月21日		↑継続事業の場合		27 年		
実施場所	就労支援事業所たんぽぽハウス						
協力団体							
参加人数	会員	6	名 →→ 会員参加率	15.38	%		
	市民	0	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

障がい者就労支援施設の支援として、掃除用プロワ2台、ちりとり8台、その他の贈呈を行いました。

事業結果

クラブ設立以来継続して行っている事業であり、相互に信頼関係を築いてきた。施設のメンバーの方々が生き生きと働くよう、今後も応援していきたい。



新聞、



事業予算	150,000	円
事業執行額	150,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕理事

氏 名 : 山口博也

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	令和7年第60回京親協はたちを祝うつどい 協賛及びクラブ員参加				
実施日	2025年1月13日		↑継続事業の場合		年
実施場所	京都テルサ				
協力団体					
参加人数	会員	24	名	→→ 会員参加率	63 %
	市民	174	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容					

障がいの方々の20歳を祝う特別な機会「第60回京親協はたちを祝うつどい」に奉仕することにより、はたちを迎えたご本人たちを祝い、ご家族、ご支援されている皆様が感謝を感じられる場を一緒にくる。その事によりインクルーシブな社会実現に貢献する。

事業内容

- ①お祝いの品の用意
- ②クラブ会長からのお祝いの品贈呈、祝辞
- ③クラブ員参加によりお祝いをし、お祝いの品贈呈準備、贈呈サポートを行う。

事業結果

はたちを迎えた19名（保護者等付添人35名）のお祝いを多くの参加者とともに行った。出席できなかったはたちを迎えた方6名と合わせ25名にお祝い記念品を贈呈、当日出席された方々には、ひとりづつ手渡しにて贈呈するとともにお祝いの言葉を伝えた。主催者の京親協はたちを祝うつどい実行委員会から、「本人が温かい励ましや祝福を受けることにより、多くの方々の見守りや支えがあることを認識されるとともに、社会人として新たな心構えを持つ機会となった」と事業成果報告頂いた。



新聞、TV等での報道

2025年1/14 京都新聞 他TVニュース放映



事業予算	300,000	円
事業執行額	126,665	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

京都中

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 河瀬 敦

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	全国車椅子駅伝京都チームのサポート及びパラスポーツの啓発				
実施日	2024年11月28日～2025年3月9日			↑継続事業の場合	年
実施場所	京都国際会館～たけびしスタジアム				
協力団体	京都中ローターアクト				
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	42 %
	市民	100	名		
	その他 京都中ローターアクト、家族10名				

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

車椅子駅伝の支援を行うことで、障がい者の社会的参加の高揚と障がい者スポーツの振興を図るとともに、社会の障がい者に対する理解と認識を深めることを目的とします。具体的には駅伝チームのチームジャンパーの一新と小学生および保護者を交えた障がい者スポーツのシンポジウムを開催したいと考えています。（開催場所：朱雀第三小学校） 1. 車椅子駅伝本番当日の沿道警備 2. 京都チームへのチームジャンパー一新・寄贈 3. ゴール地点におけるゴールテープ切りの補助 4. 沿道における応援・結団式での激励

事業結果

ロータリークラブの支援参加また公報により障がい者スポーツの地域社会における理解と啓発が深まりひいては健常者・障がい者の区別の無いシームレスな社会の実現に繋がっていく。



新聞、TV等での報道

2024/11/26（火）
京都新聞朝刊へ掲載されました。



事業予算	1,149,300	円
事業執行額	861,300	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長（理事）

氏 名 : 田中善之

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	地域活動団体・組織との連携及び能登地震被災地復興支援他		
実施日	下欄参照	↑継続事業の場合	年
実施場所	例会場、嵐山国有林、右京・西京社会福祉協議会		
協力団体	嵐山保勝会・右京社会福祉協議会・西京社会福祉協議会・輪島キリモト 右京・西京山林防火対策協議会・右京献血推進実行委員会・京都西R A C		
参加人数	会員 市民 その他	一 名 名	→→ 会員参加率 %
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input checked="" type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

当クラブ社会奉仕委員会（関係2委員会含む）では、地域連携の取組として嵐山保勝会（地域活動・嵐山千本桜プロジェクト）や大阪・京都森林管理事務所（嵐山国有林の管理）の卓話を計画した。また、「嵐山千本桜P J」については、景勝地嵐山の再興と关心（添心）を目的として京都西R A CのP J学習と嵐山国有林実地見学の企画を支援し、当クラブ会員・京都外大R A C・西京中高I A C・他の参加者の学ぶ機会を提供した。子供食堂支援については、右京・西京社会福祉協議会を通して管内の子供食堂に所望の菓子類の提供を行った。能登地震復興支援としては、桐本泰一氏（輪島キリモト）の卓話（能登地震と輪島塗の展望）及び復興支援金の贈呈を行った。地域活動団体である、右京・西京山林防火対策協議会、右京献血推進実行委員会は例年ベースの寄付を行った。

事業結果

①卓話：2024年10月28日 嵐山保勝会早田氏「嵯峨・嵐山の景観について」、2024年11月18日 「大阪・京都森林管理事務所氏橋 所長「嵐山国有林について」2025年3月3日 嵐山保勝会古川氏（当クラブ会員）「嵐山千本桜プロジェクトについて」 ②2024年10月27日京都西R A C 「嵐山千本桜プロジェクトを学ぶ会」開催…京都外大R A C、西京中高I A C他参加による卓話聴講及び嵐山国有林実地見学会の開催 ③2025年6月16日 右京・西京社会福祉協議会へ子供食堂支援としてお菓子を寄付・贈呈 ④能登地震復興支援として、能登輪島より輪島キリモトの桐本泰一氏をお招きし卓話(2025.2.10) 頂くと共に復興支援金を贈呈（関連企画として西陣榎邸ギャラリーにてトークイベント・輪島漆器類展示販売会を実施） ⑤右京・西京山林防火対策協議会への寄付 ⑥右京献血推進実行委員会への寄付

新聞、TV等での報道

なし

事業予算	650,000	円
事業執行額	300,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)		<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 藤井 宣之

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	災害時に役に立つ「LEDライト付きホイッスル」の寄贈			
実施日	2024年10月1日		↑継続事業の場合	年
実施場所	長岡市立 第六小学校・第八小学校			
協力団体	長岡市・長岡市教育委員会・乙訓消防組合・長岡市防災センター			
参加人数	会員	10 名	→→ 会員参加率	30 も
	市民	300 名		
	その他			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

～目的～ 遊びを通じて防災意識を高めてほしい。災害時にはライト点灯、ホイッスルを吹くことで被災したこと等広く周知することが出来る。
 ～事業内容～ 長岡市防災フェスタで、防災に関するゲームに参加した子どもたちに配布予定でしたが生憎の台風で中止になった為、各小学校の児童へ配布した。

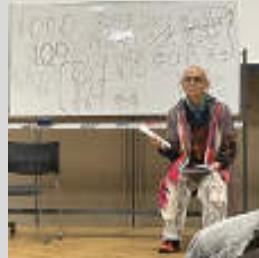
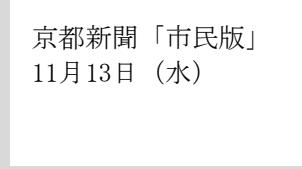
事業結果

当初は長岡市防災フェスタで、防災に関するゲームに参加した子どもたちに配布予定でしたが、台風の為、中止になった。急遽、長岡防災センターからの要請があり各小学校で防災教育をした際、小学生200名に配布して頂きました。キーホルダー付きの小さい物なので常に持ち歩くことが出来、実際に災害が起こった時にも直ぐに役立つので是非活用して欲しい。

新聞、TV等での報道

事業予算	60,000	円
事業執行額	56,100	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 半井 大
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	まんで楽しい能登フェス事業				
実施日	2024年11月10日（日）			↑継続事業の場合	年
実施場所	ヒューリックホール京都、立誠ひろば				
協力団体	七尾RC、七尾みなとRC、龍谷大学付属平安高等学校IAC、京都洛中RAC				
参加人数	会員	53	名	→→ 会員参加率	68 %
	市民	600	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他
事業目的及び事業内容	<p>京都洛中RC創立45周年記念事業として、能登半島地震被災地支援を目的とした「まんで楽しい能登フェス」を開催しました。午前中は被災地の現状報告や火山学の権威である鎌田浩毅京都大学名誉教授の講演会を含んだシンポジウム、午後からはひろばにて能登地方の物販や屋外ステージでのイベントを催行しました。</p>   				
事業結果	<p>午前の講演会は主に市民の参加者によって満席となりました。災害の怖さや備えを重要性を改めて確認する機会となりました。午後からのイベントでは、御陣乗太鼓の勇壮な演奏やミュージシャンによるミニコンサートで盛り上がりつつ、能登地方の物販ブースも盛況でした。結果として物販は約200万の売上となり、売上額は全額被災地に寄付されました。</p> <p>事前にイベントを知っていた市民だけではなく、会場を通りがかった市民が立ち寄る姿も多くみられ、全体的に大変活況なイベントにすることができました。</p>   				
新聞、TV等での報道	<p>京都新聞「市民版」 11月13日（水）</p>   				
事業予算	6,500,000		円		
事業執行額	6,300,652		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 半井 大
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	創立10周年記念事業 時計塔 再生事業		
実施日	2025年4月18日-20日 贈呈4月26日	↑継続事業の場合	年
実施場所	京都市 御池大橋西詰		
協力団体			
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名	%

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

京都市中心部の御池大橋西詰に京都洛中RC創立10周年記念事業として京都市に寄贈しました。

「時計塔」が老朽化したため、塔の再生を事業をいたしました。当クラブの創立45周年記念例会にて目録を贈呈し、京都市より感謝状を頂きました。



事業結果

親時計・子時計ともに新しい時計に入れ替えるとともに、全面的に塔の改修工事を行いました。



新聞、TV等での報道

特にございません。



事業予算	1,200,000	円
事業執行額	1,129,700	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第22回京都学生祭典実行委員会に協賛金贈呈							
実施日	2024年10月3日(木)	↑継続事業の場合			3 年			
実施場所	ホテルオークラ京都例会場							
協力団体								
参加人数	会員	57	名	→→ 会員参加率	85.07 %			
	市民	2	名					
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

2003年から毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて繰り広げられ、来場者数が10万人を超える一大イベント、人口の一割を学生が占める学生のまち・京都で学ぶ大学生だからできる、学生プロデュースのお祭りである京都学生祭典に、協賛金を贈呈した。

事業結果

2024年10月13日(日) 平安神宮前・岡崎プロムナード一帯・岡崎グラウンドにて開催され、多くの来場者があった。



新聞、TV等での報道

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都さくらよさこい実行委員会へ協賛金贈呈							
実施日	2024年12月12日(木)	↑継続事業の場合			3 年			
実施場所	ホテルオークラ京都例会場							
協力団体								
参加人数	会員	68	名	→→ 会員参加率	93.15 %			
	市民	1	名					
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

京都の春のイベントとして市民に広く認知されている「京都さくらよさこい」に毎年協賛することで、実行委員会を構成する大学生（毎年交代）の自立／社会貢献、ロータリークラブの存在の周知などに貢献。全国から100程度のチームが参加、観客動員数 延べ3万人のイベントであることから、「京都洛北ロータリークラブ」の広報活動にも役立つ。

事業結果

年々外国の観光客も見学に来るほど盛大に開催されている。計画／準備段階から携わっている実行委員会の学生にとっては、貴重な時間で、社会人となった時に、この経験は大いに役に立つことと思う。



新聞、TV等での報道

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	2025年カレンダー寄贈			
実施日	2024年末～2025年始	↑継続事業の場合	4	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場			
協力団体				
参加人数	会員 市民 その他	名	→→ 会員参加率 名	%
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

介護老人施設の市原寮に入居されている高齢者が、新しいカレンダーと共に明るい気持ちで2025年を過ごしていただけるよう、会員よりカレンダーのご寄贈をお願いした。

事業結果

市原寮より「今年もカレンダーの寄贈有難うございました。入居者が自己負担で購入することが多くなっておりましたが、寄贈をいただけるようになってからは、入居者の負担軽減になり心より感謝申し上げます。今後とも宜しくお願ひ致します。」と 御礼の連絡があつた。

新聞、TV等での報道

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	岡崎わいわい文化祭に事業費贈呈						
実施日	2025年1月16日 (木)	↑継続事業の場合		13	年		
実施場所	ホテルオークラ京都例会場						
協力団体							
参加人数	会員	62	名	→→ 会員参加率	87.32 %		
	市民	3	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

京都市の岡崎学区には、動物園、美術館、コンサートホールのある岡崎公園、平安神宮、琵琶湖疎水、別荘・別邸群とそれに付随する庭園があり、京都の文化施設が集中している。そのような地域の住民の方の歌や踊りなどの発表の場である「岡崎わいわい文化祭」に協力し、地域発展に寄与。またロータリークラブ会員の出演や資金援助で、ロータリークラブをより身近なものとして、岡崎学区の方に知っていただく。

事業結果

「岡崎わいわい文化祭」での地域の老若男女のパフォーマンスは大変盛り上がり、岡崎学区の方に喜ばれ、併せて京都洛北ロータリークラブが周知された。



新聞、TV等での報道

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	公益財団法人松ヶ崎立正会へ援助金贈呈		
実施日	2025年5月15日(木)	↑継続事業の場合	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場		
協力団体			
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率	%
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		
事業目的及び事業内容			

京都の夏の風物詩で、伝統ある民俗行事である京都五山の送り火の一つの「妙法」は、創立時のテリトリーである松ヶ崎で行われている行事である。

当クラブのチャーチメンバーや、深見会員が住職をつとめておられたお寺は、松ヶ崎妙法送り火の起源として登場する涌泉寺であったので、1974年より、19年間、「クラブ名入りタオル」を送り火催行前に贈呈していた。長らくこの様な縁は途絶えていたが、創立時のテリトリーの松ヶ崎の伝統の一助となり、ご縁が復活できればと考え、贈呈することとなった。

事業結果

チャーチメンバーで、2代目会長であった岩崎会員のご子息が当クラブに入会され、現在公益財団法人松ヶ崎立正会（妙法送り火保存会）の理事長を務めておられる。送り火点火のアカマツ割り木は、昨今の松枯れにより確保が難しくなっていたことから、寄付金を活用して松ヶ崎林山アカマツ林再生プロジェクトを実施したとの報告を岩崎理事長からいただいた。同会は、伝統行事の題目踊・さし踊（京都市登録無形民俗文化財）の保存継承にも努めておられるので、今後も支援していきたい。

新聞、TV等での報道

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北原茂樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会福祉法人京都いのちの電話へ寄付金贈呈			
実施日	2025年1月23日(木)		↑継続事業の場合	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場			
協力団体				
参加人数	会員	70	名 →→ 会員参加率	94.59 %
	市民	3	名	
	その他			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕
	<input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

「京都いのちの電話」は、1982年に開局し、1985年4月からは年中無休24時間体制で相談電話を受け続けている。混沌とした社会情勢の今日、特に「いのちの電話」の運動が必要である。年中無休24時間体制の継続には、相談員ボランティア、資金ボランティアが必要であり、相談者と直接関わる相談員は大変重要なボランティアであるが、資金が十分でなければ充実した運動は行えないと考え、資金ボランティアとしての寄付を計画しました。

事業結果

関係者を例会に招き、活動内容をお話しいただき資料を配布。「いのちの電話」への理解を深めると共に、寄付をおこなった。



新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 西田賢央
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	創立40周年記念事業 第1回京都洛南ロータリーカップ～かるた大会						
実施日	2024年2月15日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	京都市伏見区総合庁舎 4F大会議場						
協力団体							
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	74 %		
	市民	約160		名			

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

目的：地域の子供たちに伏見～かるた大会に参加していただくことで、かるたで表現した伏見区の名所旧跡を知ってもらうことにより、歴史の深い町、伏見に対する愛着を育みます。また、小学校低学年から学校や家庭以外の場に参加することで、マナーや協調性も育みます。障害のある方（呉竹養護学校）にもかるたの読み手として参画もしていただくことにより社会との関りを持っていただく。地域住民にロータリークラブを認知していただく。
 事業内容：カルタ大会参加者伏見区内の小学生123名、その他約10名、ボランティア（審判員）約50名。

事業結果

当初計画していた大会参加者数を上回り成功裏に開催することができた。開催にあたり京都市、教育委員会、伏見区内の小学校、児童館、呉竹養護学校の協力により地域と密着した奉仕事業をすることができました。小学生の父兄及びボランティアの方も多く来場いただき、ロータリークラブの奉仕事業に対する理解も深められたことだと思います。3月8日に開催した創立40周年記念式典において表彰式を行い、優勝から3位までの小学生にも出席いただき京都洛南ロータリーカップを授与しました。また、優勝者には京都市長賞として松井市長より表彰状を授与していただき喜んでいただけたものと思います。



新聞、TV等での報道

京都新聞市民版に当日の様子が写真入りで掲載されました。



事業予算	733,000	円
事業執行額	957,118	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 矢野 雅史
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	クラブ社会奉仕フォーラム						
実施日	2025年3月7日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	ホテルオークラ京都						
協力団体							
参加人数	会員	37	名	→→ 会員参加率	80 %		

その他 ゲスト3名（新会員候補3名うち2名入会）

事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他
------	---------------------------------	--	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

事業目的及び事業内容

開催目的として、ロータリーの社会奉仕は「すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。」と書かれており、豊かな暮らしとより良い社会つくりに向け、私たちは日々活動をしています。このフォーラムでは改めて社会問題解決に向けて取り組まれている、認定NPO法人Homedoor代表の川口様の報告を聞き、私たちの身近にある社会課題の発見する機会として、更に京都洛西ロータリークラブ、また会員として、より良い社会つくりに向けての活動が生まれことを目的と致します。

また、会員増強に向けゲストにも参加頂き、例会の雰囲気をしってもらい入会を勧めることも併せて行います。

事業結果

当日は、認定NPO法人Homedoor代表の川口様より『地域社会のニーズ沿った奉仕とは』～だれもが何度もやり直せる社会を目指して～をテーマに様々な理由でホームレスや普通の生活が出来くなった方への支援ともう一度社会に復帰できるように住むところから、働くところの支援をされている活動のお話をお聞かせいただきました。

川口様の講演を聞き、改めて、私たちの身近にある社会課題について見つめなおす機会となりました。また、当日はゲストの方にもご参加いただきロータリーの活動を知ることで共感を頂き入会へつながりました。



新聞、TV等での報道

事業予算	35,000	円
事業執行額	35,000	円
この事業の主な財源 (複数回答 可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 矢野 雅史
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	小倉山特別保存地域における竹穂垣補修改善事業		
実施日	2024年10月12日	↑継続事業の場合	27 年
実施場所	小倉山特別保存地域		
協力団体	京都洛西ローターアクトクラブ・右京区役所・嵯峨中学校		
参加人数	会員 33 名 →→ 会員参加率 68 %		
	嵯峨中学校 18名 花園大学 1名 米山奨学生 1名 RAC 5名		
	その他 右京区 人見区長、山下副区長		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

右京区嵯峨野の竹林の風景は世界に誇れるすばらしい資産であり、その景色を護る活動として。また竹林をまもる事により生じるであろう様々な効果も期待し、クラブ会員と協力団体が力をあわせ、毎年、竹林内の倒竹、枯竹の清掃を実施と伐採した竹穂も利用して穂垣の補修をしています。

事業結果

当社は前年度より関係を築かせて頂いております、右京区役所の人見区長、井上副区長にもお参加頂き、また、嵯峨中学より野球部の生徒さんと顧問の先生の18名と花園大学の学生1名。奨学生の毛さん、ローターアクト、会員家族を含め総勢68名での開催となりました。

参加者皆さん、熱心に作業をしていただき、とてもきれいに竹穂垣がよみがえりました。観光に来られている外国人の方も大変興味深く見られていて、写真撮影されている方も沢山おられました。今回、多くの若者に参加頂き、改めて、この素晴らしい美しい景観を守り次世代でしっかりと引き継ぐ必要性を感じさせていただきました。作業後は大河内山荘さまのご厚意でお庭の見学とお抹茶を頂戴し、参加者の皆様は達成感に満ちながら疲れを癒しました。



新聞、TV等での報道

事業予算	270,000 円
事業執行額	296,000 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 清野 篤

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都市東山区 区民ふれあい広場協賛		
実施日	令和6年9月23日 (日曜)	↑継続事業の場合	10 年
実施場所	東山区総合庁舎		
協力団体	京都美術工芸大学、京都女子大学		
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名	%
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

区民の東山区への愛着心の高揚と、区民相互のふれあいを深めるため、「東山区民ふれあいひろば2024」が、東山区民ふれあい事業実行委員会と東山区役所によって開催されました。内容は、

- ・大谷中学・高等学校吹奏楽部のプラスバンド演奏
- ・からあげ、焼きそば、鯛だし樽檬キーマカレー、かき氷、わたがしなどの飲食と販売
- ・金魚すくい、ヨーヨー釣り、ピックルボールなどの体験
- ・健康チェック、税金クイズ、空き家の相談会、保育所入所相談など啓発活動等です。

事業結果

「東山区民ふれあいひろば2024」が令和6年9月23日、京都市東山区の区総合庁舎で開かれ、多彩なブースやステージ発表があり（スペシャルステージ、スポーツチャレンジ、キッズコーナー、射的他）、多くの親子連れが訪れました。また、現在、今熊野橋架替工事がJR列車の運行が終了してからの夜間施工を中心の工事で、昼間は工事の進捗がわかりにくいため、ポスターだけでなく、夜間施工の状況や工事現場の雰囲気が伝わるように働く職員たちの写真が展示されました。

「東山区民ふれあいひろば2024」では、行政や企業、地域の人たちが協力して、大人や子どもとの幅広い世代の人たちがふれあう機会となり、大盛況のイベントでした。

新聞、TV等での報道

京都新聞

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 清野 篤

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都市東山区東山はぐくみハッピーギフト作成		
実施日	令和6年10月18日（金曜）	↑継続事業の場合	5 年
実施場所	京都市東山区子どもはぐくみ室		
協力団体	龍紜窯、株式会社半兵衛麸、(有)樋口木箱製作所、特定非営利活動法人子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ、京都洛東ロータリークラブ		
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名	%

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

すくすく子育て応援事業として、赤ちゃんが誕生したご家庭に、児童委員が「東山はぐくみハッピーギフト」をお届けしています。東山ハッピーギフトの内容は、◆「京焼・清水焼（龍紜窯）」の染付のお皿◆「スープ麸（半兵衛麸）」◆「桐の木箱」◆赤ちゃんのおしりふき＆スタイ（京都生協）◆「ひがしちゃんボールペン」（京都洛東ロータリークラブ）です。今期は、従前の「ひがしちゃんボールペン」の後継として、また他に有効な活用を期待して「ひがしちゃんキーチェーン」を作成することとしました。

事業結果

令和6年10月18日（金）に「ひがしちゃんキーチェーン」をお届けいたしました。これは、京都市東山区のキャラクターをもとに、長期の使用に耐えるようにしっかりした素材（反射板素材）で作成し、「ひがしちゃんがかわいい」と職員の方々にも好評です。今後、東山区の子育て世帯に様々な機会をとらえて、有効に活用されることを期待しています。

新聞、TV等での報道

事業予算	154,000	円
事業執行額	154,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 清野 篤

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「鴨川清掃活動」+「親と子の料理教室（餃子の手作りワークショップ）」			
実施日	令和7年3月22日（土曜）	↑継続事業の場合	年	
実施場所	■鴨川清掃：鴨川沿い御池から四条まで往復路 ■料理教室：DAIDOKORO（河原町御池角）			
協力団体	「鴨川を美しくする会」「京都府河川課」			
参加人数	会員 17 名 →→ 会員参加率 41.5 %			
	市民 53 名			
	その他 鴨川を美しくする会事務局1名、京都府河川課2名			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

■ 「鴨川清掃活動」 集合：御池大橋西側
 京都の千二百年の歴史とともに流れてきた「鴨川」は、今も憩いの場であり京都を代表する名所であって、これからも「鴨川」を美しく保つことを意識し、実践します。
 ■ 「親と子の料理教室（餃子の手作りワークショップ）」 於：DAIDOKORO
 親と子で料理を作る喜びや楽しさを体験し、「食事がつくる、からだとこころ」を体現する場を提供したいと考え、親と子が楽しんで取り組める献立を準備しました。また食材の有効活用を意識し、製粉業者のご協力を得て、小麦粉は製粉過程から生じる余材を活用しています。

事業結果

■ 「鴨川清掃活動」 - 「鴨川を美しくする会」による器材の用意等の多くのご協力を得て、往路は鴨川沿いの道を御池から四条大橋まで南下しつつ、清掃活動を行いました。子どもたちは積極的に清掃を行い、細かなゴミから、時には信じられない大きなゴミまで丁寧に収集しました。復路は、川端通り沿いですが、ゴミの種類が変わり、たばこの吸い殻がほとんどになりました。

■ 「親と子の料理教室

（手作り餃子のワークショップ）」一グループに分かれ、担当者の説明を受けてから餃子作りにチャレンジしました。皆で餃子をつくり終えると、焼き上げですが、53人分以上の量ですので、ここはさすがに施設の方々にお願いしました。焼き上がるとサラダや御飯、吸い物他などの食器の用意や配膳に追われることもありましたが、参加された方々には、おおいに調理糧や食事を多いに楽しんでいただけたようです。

新聞、TV等での報道



事業予算 290,660 円

事業執行額 290,660 円

この事業の主な財源（複数回答可） 地区補助金 グローバル補助金 クラブ資金 クラブ以外からの寄付 その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 清野 篤

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都市山科区安朱における植栽による社会奉仕活動		
実施日	令和7年5月17日（土曜）	↑継続事業の場合	年
実施場所	京都市山科区安朱		
協力団体	京都市産業観光局農林振興室 公益財団法人京都市森林文化協会		
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名 鴨川を美しくする会事務局1名、京都府河川課2名	%

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

事業内容

・防鹿柵修復

3年前に設置した竹製防鹿柵の修復作業を実施し、竹を組むのに使用した番線が腐食しているため、番線をすべて除去するとともに、新たに用意した竹材を結束バンド等で固定し、修復する。

・植栽

修復した柵内に補植+周辺数か所に新たに植栽を行う。苗木は、地形・地質等を考慮して、専門家が選定した地域性苗木を用いる。植栽箇所1箇所につき、苗木3本を植栽する。

事業結果

当初、事業実施日を令和7年5月17日（土曜）に予定していましたが、京都市から、その日は雨天が予想されるため、山中での作業であることを鑑み17日は中止したいとの連絡があり、中止することとしました。予備日として5月31日（土曜）の実施を予定しましたが、その日も前後に雨天が想定されたため、山中での作業や足場の確保が困難と思料し、やむなく事業自体を中止することとしました。

新聞、TV等での報道

事業予算	250,000	円
事業執行額	71,060	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 幹事
 氏 名 : 岸本英治
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	森を守るために重要な除伐活動				
実施日	2024年11月10日			↑継続事業の場合	2 年
実施場所	嵐山国有林				
協力団体	京都市産業観光局 森林振興林業振興課				
参加人数	会員	14	名 →→ 会員参加率	45	%
	市民	0	名		
	その他	会員家族 (2名)			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

地域の環境保全、国有林の健全な未来に引き継ぐための森林整備を目的として実施。事前の打ち合わせにより対象場所を決定し、当日はあらかじめテープで目印がされていない樹木を刈り取る労働をしました。傾斜地など危険を伴う場所もありましたが参加会員で約2時間の作業を実施し、終了のちには綺麗に整備された風景をみて達成感を感じました。

事業結果



新聞、TV等での報道

事業予算	0	円
事業執行額	30,000	円
この事業の 主な財源	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 幹事
	氏 名	: 岸本英治
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	いちご狩りで食べて、公園で元気に遊ぶ！						
実施日	2025年5月10日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	おさせん農園（八幡市）～LOGOS LAND（城陽市）						
協力団体	京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 子ども家庭支援課						
参加人数	会員	21	名	→→ 会員参加率	68 %		
	市民	225	名				
	その他	会員家族・事務局・米山奨学生（6名） 京都市職員（1名）					
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

京都市内の児童養護施設（8園）の児童たちの健全な遊びの提供と子供たちの健康を増進し情操を豊かにすることを目的とし毎年実施している社会奉仕事業です。今年は子供に人気のいちご狩りと公園で遊んでもらう企画をしました。当日は観光バス4台で各園にお迎えに行きおさせん農園に到着、会長挨拶、京都市の担当様の挨拶、おさせん農園でのいちご狩りの説明後、ハウスに入りいちご狩りを1時間ほど楽しんでいただき、観光バスにてLOGOS LANDに移動。移動後には室内でカレーライスを食べていただき広大な公園で元気一杯に楽しんでいただきました。

事業結果

予定数を大幅に上回る参加があり児童が楽しく有意義な一日を過ごしてくれました



新聞、TV等での報道

事業予算	975,377	円
事業執行額	1,254,235	円
この事業の 主な財源	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 池内 善一

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	はじめましての雅楽 管弦と舞楽				
実施日	2024年10月12日			↑継続事業の場合	年
実施場所	ホテルオークラ京都				
協力団体					
参加人数	会員	11	名	→→ 会員参加率	52.38 %
	市民	54	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

雅楽をはじめとする伝統文化に関心を持っていただき、その扱い手づくりのきっかけとなることを目的として企画した。「弥栄雅楽会」による雅楽演奏と舞楽の披露、代表の山元徹先生には雅楽はの成り立ちや曲目・楽器について詳しく解説をしていただいた。

事業結果

参加していただいたお子さんや市民の皆様の中には、はじめて雅楽・舞楽を鑑賞された方が多かつてが、十分に楽しんでいただいた。また、わかりやすく解説していただいたので、日頃接することが少ない雅楽について理解を深めてもらうことができたと思う。



新聞、TV等での報道

J:COMチャンネルで本プロジェクトと参加者のインタビューを放映していただいた。

事業予算	877,200	円
事業執行額	780,671	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 池内 善一

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	嵐峡の清流を守る会 河川清掃活動及び大堰川幼魚放流			
実施日	2024年9月15日 11月15日	↑継続事業の場合	37	年
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿い			
協力団体	京都西南RC・桂川RC・嵯峨野RC、ライオンズクラブ、銀行、近隣幼稚園、嵐山保勝会他			
参加人数	会員 8 名	→→ 会員参加率 38.09 %		
	市民 名			
	その他			

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

世界的に知られる観光地嵐山渡月橋周辺において、各団体とともに一斉清掃を行い環境美化活動に取り組む。また、近隣の幼稚園児を招いて渡月橋上流の大堰川に幼魚（フナ）の放流を行う。

事業結果

一斉清掃を行うことにより環境美化の啓発につながり、ゴミのポイ捨てを減らす効果をもたらす。また、幼魚放流では、幼稚園児が河川環境をきれいに保つことやきれいな川で生き物が育つことを学ぶ機会となった。



新聞、TV等での報道

事業予算	20,000	円
事業執行額	20,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 池内 善一

担当委員会名 : 社会奉仕

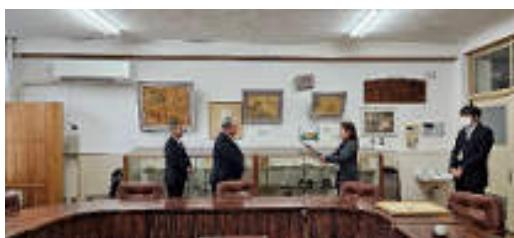
事業名	京都西北ロータリー文庫寄贈			
実施日	2025年3月15日		↑継続事業の場合	15 年
実施場所	京都市立嵯峨小学校			
協力団体				
参加人数	会員	2 名	→→ 会員参加率	9.52 %
	市民	名		
	その他			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕
				<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

子どもの読解力・想像力向上を目的とし、楽しい読書習慣を提供できるよう嵯峨小学校へ図書の寄贈を継続して行っている。

事業結果

若者の読書離れが叫ばれているなかで、読書好きの子供を少しでも増やせるように書物を寄贈している。
また、「朝の読書」が実施されているので、図書の充実にも貢献していると思う。



新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 池内 善一

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	右京ジュニア消防団への寄贈			
実施日	2025年3月19日		↑継続事業の場合	30 年
実施場所	ホテル日航プリンセス京都			
協力団体	右京消防署			
参加人数	会員	14 名	→→ 会員参加率	66.67 %
	市民	名		
	その他			

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

地域防災の担い手となる消防団員への育成組織となるジュニア消防団の活動をサポートするため、服装や備品の購入の補助をおこなっている。

事業結果

消防署長と担当課長にご来会いただきて、感謝状を頂戴した。また、4月13日(日)には令和7年度右京ジュニア消防団入団・卒団式に石割照久会長が出席した。



新聞、TV等での報道

事業予算	50,000 円
------	----------

事業執行額	50,000 円
-------	----------

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他
----------------------	---

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 久保耕太
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	第12回嵐山こども相撲大会		
実施日	2024/10/5(土)	↑継続事業の場合	12 年
実施場所	嵐山 中之島公園		
協力団体	後援：京都府、京都市、京都市教育委員会、嵐山保勝会 協力：京都府相撲連盟、京都市立鳴滝総合支援学校		
参加人数	会員 38 名	→→ 会員参加率 91.49 %	
	市民 300 名		
その他	選手父兄、各後援・協力団体来賓		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容
小学生を対象としたこども相撲大会を実施する。日本伝統の相撲を通じて、子どもたち、保護者の皆様、地域の方々との交流を図り、子どもたちの成長に寄与することを目的とする。

事業結果
前日準備から小雨が降る中不安と共に当日を迎えましたが、開催当日は天候に恵まれ無事開催へと漕ぎ着けました。男子125名、女子52名合計177名の子どもたちが参加し、大盛況の大会となりました。本年度は特に保護者の方たちの熱が高く、熱い試合が数多く行われました。その分、大会終了時刻が押してしまいましたが、みんな笑顔での開催終了となりました。



新聞、TV等での報道
2024年10月6日(日) 京都新聞朝刊

事業予算	1,989,344 円
事業執行額	1,989,344 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 幹事
 氏 名 : 若宮隆幸
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	パラスポーツの世界を体験しよう					
実施日	2024年11月1日	↑継続事業の場合		年		
実施場所	京都市立紫竹小学校					
協力団体	京都市障害者スポーツセンター					
参加人数	会員 9 名	→→ 会員参加率 37.5 %				
	市民 50 名					
	その他					
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他					

事業目的及び事業内容

地域の小学生、教員が実際にパラスポーツ（車いすバスケット、ボッチャ、ガイドランナー）を体験し、パラアスリートの方々と交流することによって、障害を持つ人にとってのパラスポーツがもつ意味を周知し、理解してもらうことができる。これにより、パラスポーツの振興、健常者と障害者の垣根のない社会の実現の一助となる。

事業結果

参加した小学生達は、パラリンピックのメダリストを含む日本を代表する選手の方々と直にふれあいながら、複数のパラスポーツを体験することで、障害を持つ人にとってのパラスポーツの意味を体感し、選手の障害を感じさせないプレーぶりを見て、その格好良さを感じていた。複数の種目を体験してもらうことで、障害特性に応じたパラスポーツが存在する意味を理解してもらえたと思う。体験後の質問も活発に行われ、事業の目的としていた、健常者と障害者の垣根のない社会の実現の一助になったと実感できた。会員も、設営、準備、後片付けの手伝いなどをしつつ、実際にパラスポーツを体験することも出来、積極的に関わることができた。有意義な奉仕活動であったと思う。

新聞、TV等での報道

（この欄は空欄で構いません）

事業予算	758,400 円
事業執行額	732,140 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 宇根田 卓

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕フォーラム						
実施日	2024. 11. 16			↑継続事業の場合			
実施場所	リーガロイヤルホテル京都						
協力団体							
参加人数	会員	23	名	→→ 会員参加率	56 %		
	市民	65	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

第一部：児童虐待ドキュメンタリー映画「REAL VOICE」上映会

第二部：山本昌子監督・西村孝子氏・大林照明氏によるトークセッション

ドキュメンタリー映画「REAL VOICE」の上映会とディスカッションを通じてこれから児童福祉関係に従事する若い世代の人たちやすでに施設で従事している人たちが虐待経験者の希望や悩みについて考える機会になってほしい。

事業結果

チラシ・ポスター配布、新聞告知、インスタ広告によりRC会員だけでなく、若い男女や乳児連れのお母さん、児童福祉施設関係者等も参加していただけた。

ドキュメンタリー映画の上映では児童虐待当事者の声を聞くことができ、トークセッションの大林照明氏による「福祉とは」の説明では関係者の理解が深まった。その後は参加された方々から、支援する側される側それぞれの視点から活発に意見交換がなされ、今後の活動の参考とすることことができた。



新聞、TV等での報道

特に無し

事業予算	915,000	円			
事業執行額	1,266,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 社会奉仕担当

氏 名 : 石田光輔

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	幼稚園児対象芋ほり体験学習				
実施日	2024年11月7日			↑継続事業の場合	年
実施場所	草内幼稚園近くの畑				
協力団体	草内幼稚園				
参加人数	会員	14	名	→→ 会員参加率	73 %
	市民	20	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

農業に親しみ、土に親しむことを目的に、園児に芋ほり体験学習をおこなった。

事業結果

園児の予想外の喜びように、会員もいっしょになって芋掘りをしたのしめた。



新聞、TV等での報道

京都田辺ロータリークラブ
会員・地域・社会貢献
農業体験活動で芋ほり
おこなわれました

京都田辺ロータリークラブは、会員・地域・社会貢献の一環として、農業体験活動を行いました。この活動は、園児たちが芋ほりを体験する機会を提供するため、草内幼稚園近くの畠で行われました。会員たちは、芋ほりの手順や農作業の大変さを理解するだけでなく、地域とのつながりを感じる貴重な経験を得ました。また、地域住民の方々も、芋ほりの手伝いや、子供たちへの激励など、温かいサポートをしてくださいました。この活動は、地域社会への貢献の一環として、会員たちの熱意と協力によって実現されました。今後も、地域社会への貢献活動を通じて、地域との連携を深め、地域の発展に貢献してまいります。

事業予算	50,000	円
事業執行額	15,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 会長

氏 名 : 藤川武海

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	滝桜手入れ				
実施日	2025年2月12日(水)			↑継続事業の場合	35 年
実施場所	不動川公園・ハイタッチリサーチパーク・岩船寺・玉川保育所・多賀神社・高山ダム				
協力団体					
参加人数	会員	8	名	→→ 会員参加率	90 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

事業目的

本事業は、当クラブが地域貢献の一環として植樹した滝桜の健全な成長と保存を目的とするものである。美しい自然環境を次世代に継承するとともに、地域住民との交流のきっかけとし、地域に根ざした奉仕活動の継続と意識の醸成を図ることを目的とする。

事業内容

当クラブが過去に植樹した滝桜について、毎年継続的に手入れ作業（剪定、施肥、除草、支柱の点検など）を実施している。今年度も会員有志が参加し、専門家の助言を得ながら適切な管理作業を行った。あわせて、現地の状況確認とともに、樹木の健全性や景観保全の観点から必要な措置を講じた。

事業結果

本年度も滝桜の手入れ作業を無事に実施することができ、樹勢はおおむね良好であることが確認された。剪定や施肥、支柱の補強といった基本的な管理作業により、桜の生育環境が整備され、今後の健全な成長に寄与する結果となった。

また、会員間の協力体制のもと、地域環境への関心を改めて共有する機会となり、クラブの奉仕精神の再確認にもつながった。継続的な活動により、地域住民や行政からも一定の評価と信頼を得ており、今後も引き続き本事業を通じて地域社会への貢献を目指していく。



新聞、TV等での報道

事業予算	5,000	円
事業執行額	4,500	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

京都八幡

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 森井雅春
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	防災講演会						
実施日	令和6年10月5日（土）			↑継続事業の場合 年			
実施場所	八幡市文化センター小ホール						
協力団体	能都ロータリークラブ						
参加人数	会員	13	名 → 会員参加率	81	%		
	市民	270	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他						

事業目的及び事業内容

今年度当クラブは会長の基本方針であります「防災」をテーマにした対外奉仕活動の一環として、一般市民に向け「防災講演会」を企画・開催することにしました。八幡市においては今から90年前に「室戸台風」による大打撃により、青少年を含む多くの市民が犠牲になりました。その後「阪神淡路大震災」「大阪北部の地震」の経験もしました。更には今年1月元旦には友好クラブを締結しています、石川県の「能都ロータリークラブ」会員が「能登半島地震」に見舞われ、更には9月には豪雨災害により大きな被害を受けました。全国的には、8月に「南海トラフ地震臨時情報」が発出される等、地球上においても「地震」「風水害」「山火事」等々あらゆる災害が頻繁に発生し、市民の防災による意識の高揚を更に促されました。このような中で、一般市民に防災の意識をより高めて頂けるように2部制を以って「防災講演会」を開催いたしました。

事業結果

第一部の講演会は、阪神淡路大震災に遭遇され、その後市職員として地震の対応に当たられた「都市災害に備える技術の会」の、片瀬範雄氏をお迎えして、「阪神淡路大震災から学ぶこと（東日本大震災・能登半島地震）」と題して基調講演をいただきました。第二部は「パネルディスカッション」形式で、八幡市総務部危機管理課・八幡市自治連合会・八幡市消防本部・八幡市消防団・八幡市女性防火推進隊・陸上自衛隊の代表者から順次防災における事前の備えや構成が何より重要であることの教えを被り、加えて大変な時期にも関わらず「能都ロータリークラブ」の会員も参加して戴き、震災や豪雨における体験の生の声をお伝えいただきました。3時間に及ぶ開催でしたが、八幡市内外から270名の参加を戴き、市民自体の防災に対する更なる意識の向上、そして今回の企画開催により、石川県「能都ロータリークラブ」の皆様への”励まし”の一助になったものと会員一同自負しています。



新聞、TV等での報道

広報八幡市 新聞記事及び開催ビラ



事業予算	248,689	円
事業執行額	488,080	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 中田 芳邦

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	第40回 五老ヶ岳ロータリーの道登ろう会				
実施日	2025年5月18日			↑継続事業の場合	40 年
実施場所	五老ヶ岳ロータリーの道および五老ヶ岳公園こども広場				
協力団体	後援：舞鶴市 協力：ボイスカウト4団育成会、吹奏楽団ブルーマリンズ、FM舞鶴				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	66 %
	市民	200	名		
	その他 米山獎学生1名、吹奏楽団25名、ボイスカウト5名				

事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他
------	---------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------------	---

事業目的及び事業内容

舞鶴ロータリークラブのメイン事業です。舞鶴市のほぼ中心に位置する五老ヶ岳に登る登山道を多くの市民とともに登り、健康増進と環境保全の大切さを実感します。山頂では登り切った達成感を味わうとともに景色を眺めながらボイスカウトの協力のもと豚汁を振る舞っていたとき、食後は吹奏楽団ブルーマリンズによる演奏を楽しみ親睦を深めます。多くの市民に舞鶴の良さの再発見と舞鶴ロータリークラブの活動を知ってもらえる機会となります。

事業結果

天候にも恵まれ全てのプログラムが実施できました。いろいろな世代の方々が約200名参加してくれました。40回目の開催ですが毎年楽しみに参加される方や初めての方も山頂で充実した笑顔を見せておられました。また今回、舞鶴市の後援を得たことにより広報まいづるや舞鶴メールでのPRが出来たことで事業の認知度が高まりました。



新聞、TV等での報道

京都新聞、読売新聞に掲載。

200人、汗流し山頂へ 舞鶴・五老岳で「登ろう会」



五老ヶ岳40回目の「登ろう会」



事業予算	320,000	円
------	---------	---

事業執行額	246,000	円
-------	---------	---

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他
----------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 川口 孝文
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの桜保守・整備事業				
実施日	2025年5月12日（月）	↑継続事業の場合	10	年	
実施場所	主要地方道小倉西舞鶴線（28号）：通称 白鳥街道 森白鳥跨線橋 付近				
協力団体					
参加人数	会員	4	名 →→ 会員参加率	11	%
	市民	名			
	その他	造園業者等 6名			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容	事業目的：白鳥街道及び市道法面に山桜等を植樹し桜並木に育てる。 事業内容：桜並木の整備				
------------	--	--	--	--	--

事業結果	桜 48 本の下草刈り、樹幹の薦除去及び枯れた桜（1本）の伐採並びに看板清掃を実施				
------	---	--	--	--	--

新聞、TV等での報道					
------------	--	--	--	--	--

事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,602	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

2024-25年度

舞鶴東

ロータリークラブ

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 川口 孝文
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	舞鶴トレイル倶楽部等の活動支援				
実施日	2024年7月～2025年6月		↑継続事業の場合	7	年
実施場所	舞鶴トレイルコース等				
協力団体	舞鶴トレイル倶楽部、舞鶴道遊（まいづるどうゆう）くらぶ				
参加人数	会員	延べ30	名	→→ 会員参加率	83 %
	市民	延べ70	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

事業目的：舞鶴トレイル倶楽部等の活動（①古道・旧道の調査・整備 ②整備したトレイルコースの MAP作成 ③コースを利用したイベント等の企画・実施 等）を支援するとともに、ロータリー活動の一環として協働する。

事業内容：舞鶴トレイル倶楽部の活動の支援及びイベントの共催

事業結果

実施期間中、東舞鶴地域のトレイルコースの調査・整備に参加（写真左）。2024年11月10日（日）青葉山ろく公園⇒稻荷神社⇒JR松尾寺駅（写真右）⇒青葉山ろく公園のコースで、「白狐ハイキング」を舞鶴トレイル倶楽部、舞鶴道遊くらぶと共に催した。



新聞、TV等での報道

なし。

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他
----------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------

2024-25年度

園部

ロータリークラブ

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 谷 学
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	献血活動				
実施日	2024. 8. 23 (金) 、 2025. 3. 11 (火)		↑ 継続事業の場合	41	年
実施場所	南丹市国際交流会館、瑞穂保健福祉センターほほえみ				
協力団体	南丹市				
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	95 %
	市民	54	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容	<p>今年度2回献血活動をしました。健康に感謝し、簡単に出来る奉仕活動である献血活動を住民の皆さんに周知し、献血数を確保することを目的とする。</p>				
------------	---	--	--	--	--

事業結果	<p>多くの会員も参加しました。事前に会員事業所や家族の方にも声かけをし、なんとか採血数を確保できました。今後の課題として土日等のイベント開催時など、人の集まる場所での実施も検討していくかなければ必要採血数を確保するのが難しくなってきている現状です。</p>				
------	---	--	--	--	--



新聞、TV等での報道	<p>対象地域に新聞折込広告を入れ、地元ケーブルテレビで案内をし、地域の方に献血実施日の案内とご協力のお願いをしました。</p>				
------------	--	--	--	--	--

事業予算	50,000 円			
事業執行額	44,223 円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他			

2024-25年度

園部

ロータリークラブ

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 谷 学
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	園部駅西口花壇の植替え				
実施日	2024. 7. 17 2024. 12. 11. (水)	↑継続事業の場合	年		
実施場所	JR園部駅西口				
協力団体	京都府立農芸高等学校				
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	95 %
	市民	54	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	<p>駅の利用者に気持ちよく利用していただけるように2回花植えの取組みをしています。ゴミやタバコのポイ捨てが減ってきて、定期的に花を植えることは効果的です。京都府立農芸高等学校の生徒さんが育てられた花の苗を、生徒と一緒に配色バランスを考えながら花壇に植えました。</p>				

事業結果	<p>通勤通学で駅を利用する方に眼をとめてもらい、ほんの少しの安らぎを与えられていると思います。また、西口コンコースではイベント等が行われており、その場においても花を添えていると感じる。</p> <p>地元高校生との交流も図れ、有意義な事業となった。</p> 				
------	--	--	--	--	--

事業予算	50,000	円	
事業執行額	43,640	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他		

2024-25年度

宇治

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 社会奉仕委員

氏 名 : 居原田晃司

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	クリーン宇治運動				
実施日	2024.11.3、2025.3.2、2025.6.1				↑継続事業の場合 年
実施場所	宇治川右岸堤防（宇治橋以南～菟道丸山地先）				
協力団体	宇治青年会議所、宇治商工会議所				
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	20 %
	市民		名		
	その他				

事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他
------	---------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------------	--------------------------------

事業目的及び事業内容

社会奉仕活動の一環として、宇治市の代表的景観である宇治川周辺を清掃し、市民はもとより観光客への環境改善を目的とする。

事業結果

3回開催しましたが安全に配慮しながら無事に清掃活動ができました。クラブ内での参加人数減少が目下の悩みです。



新聞、TV等での報道

クリーン宇治運動は地元紙「洛南新報」に掲載

事業予算	10,000	円
事業執行額	10,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

宇治鳳凰

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 野川正克

担当委員会名 : 社会貢献委員会

事業名	宇治市の				
実施日	2025年6月1日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	浮船宮石碑周辺				
協力団体	宇治商工会議所				
参加人数	会員	7	名	→→ 会員参加率	22 %
	市民	多数	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

宇治商工会議主催の宇治市の美化運動に参加する。ホームページやSNSで活動を報告する。宇治市の環境保全及び美化活動の一翼を担うことにより宇治鳳凰ロータリークラブの社会貢献活動をPRして周知を図る。

事業結果



新聞、TV等での報道

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 野川正克

担当委員会名 : 社会貢献委員会

事業名	鳳凰賞				
実施日	2025年3月29日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	ホテルグランビア京都				
協力団体					
参加人数	会員	32	名	→→ 会員参加率	100 %
	市民	多数	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

宇治市近郊を住み良い街にする為に貢献された団体や個人を称え、さわやかな善意と、ひそかな活動に、感謝を込めて贈るささやかな賞

事業結果

今回の受賞者選出につきましては宇治鳳凰ロータリークラブの会員に推薦のお願いをさせて頂き、5件の推薦がありまして厳正なる審査を行い令和7年1月30日の実行委員会において本日お越しの宇治市菟道立小学校 学校運営協議会様とまちのおじさん・おばさんバンド・かざぐるま様に決定させていただきました。



新聞、TV等での報道

洛タイ新報等

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

2024-25年度

宇治鳳凰

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 野川正克

担当委員会名 : 社会貢献委員会

事業名	宇治市の						
実施日	2024年11月3日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	朝霧橋周辺・浮船宮石碑周辺						
協力団体	宇治商工会議所						
参加人数	会員	9	名	→→ 会員参加率	28 %		
	市民	多数	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

宇治商工会議主催の宇治市の美化運動に参加する。ホームページやSNSで活動を報告する。宇治市の環境保全及び美化活動の一翼を担うことにより宇治鳳凰ロータリークラブの社会貢献活動をPRして周知を図る。

事業結果



新聞、TV等での報道

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

2024-25年度

福井

ロータリークラブ

報告者 役 职 : 委員長

氏 名 : 寺本光宏

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	福井ジュニアアスリート育成事業						
実施日	2025年1月19日、3月29日、3月30日			↑継続事業の場合			
実施場所	福井市西体育館、福井県営陸上競技場						
協力団体	ふくい桜マラソン課						
参加人数	会員	45	名	→→ 会員参加率	30 %		
	市民	92	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

福井で陸上に励む子ども達を対象に、有名なアスリートを講師に招いた陸上教室や、保護者向けの栄養講座を開催し、将来福井出身として活躍してくれるアスリートを育成するきっかけをつくってもらう。またふくい桜マラソンコースに設置する応援用のぼり旗に子ども達がメッセージを書くことを通じて、イベントに参加する喜びと地元愛を育んでもらうことを目的に開催しました。

事業結果

2025年1月19日（日）に福井市西体育館にて、①ジュニアアスリート陸上教室、②勝つための栄養講座、③ふくい桜マラソンの応援用のぼり旗の作製を行いました。参加した子どもは66名、保護者は26名。陸上教室の講師にはパリオリンピックの100mに出場した坂井隆一郎選手を始め、現役で活躍中の選手3名、栄養講座講師にはアスリートフードマイスターの講師の育成をしている堀内康代さん（福井RC会員）にお願いし、約1時間30分、①②をほぼ同時に開催しました。その後、約1時間、③桜マラソンの時に使用する応援用のぼり旗を子ども達が1人一枚ずつ作成しました。ロータリー会員参加者は18名でした。2025年3月30日（土）にそののぼり旗をふくい桜マラソンコースである福井県営陸上競技場に取り付け、翌日31日（日）のマラソン終了後に撤収しました。ロータリー会員参加者は29日19名、30日8名でした。



新聞、TV等での報道

3月30日福井新聞



事業予算

1,016,000 円

事業執行額

885,780 円

この事業の主な財源
(複数回答可)

地区補助金 グローバル補助金 クラブ資金 クラブ以外からの寄付 その他

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 齊藤 稔
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血啓蒙活動：献血をしよう！							
実施日	2024年11月17日（日）	↑継続事業の場合			3 年			
実施場所	アピタ福井大和田店							
協力団体	福井県赤十字血液センター							
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	38 %			
	市民	66	名					
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

「自分たちが必要とする血液は自分たちで！」少子高齢化や若年層の献血意識の低下が懸念され、献血者数減少による血液不足が叫ばれる状況において、少しでも献血活動への参加意識を上がるよう啓蒙活動を行います。ロータリアンが献血活動を実践するとともに、事前に家族・従業員・知り合いへの周知に努め、さらに会場で積極的に声掛けを行い協力をお願いします。

事業結果

予想をはるかに上回る74名の方に受付をしていただき、そのうち68名の方に400mLの献血をしていただきました。用意した献血パックを使い切る状況となりました。段取りや声掛けもスムーズに行うことができ、献血への参加意識向上の一助となったかと思います。



新聞、TV等での報道

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 齊藤 稔
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ドラゴンリバー 足羽川河原清掃活動								
実施日	2025年3月9日 (日)	↑継続事業の場合							
実施場所	足羽川河原北側 桜橋から九十九橋								
協力団体	NPO法人 ドラゴンリバー交流会								
参加人数	会員 15 名	→→ 会員参加率 29 %							
	市民 名								
	その他 各種40団体								
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他								

事業目的及び事業内容

NPO法人 ドラゴン交流会主催のもと、地元で活動している団体ともに豊かで潤いのある河川環境の保全を目指す。

事業結果

指定されている区域の河原沿を歩き、ごみの分別をし、清掃活動を実施。
天気にも恵まれ、けが人もなくスムーズに清掃活動ができた。



新聞、TV等での報道



事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答 可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 辻 正
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	セルブ総合スキルコンテスト（福井県社会就労センター協議会）		
実施日	2024年10月18日(金)	↑継続事業の場合	年
実施場所	福井県社会福祉センター		
協力団体	福井県社会就労センター協議会		
参加人数	会員 市民 その他	8 100 名	→→ 会員参加率 16 %
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

福井フェニックスロータリークラブが特別後援として、行われました。福井県内の障害がある人の社会参加を実現にするため、一人一人の個性や能力に応じて、日頃取り組んでいる生産から販売等に至るまで、就労に関する成果を披露する事により、就労に必要な技能の習得や意欲の向上を図ると共に、総合的に『生きる力』を引き出す事を目的にしています。① 私の短い手紙部門 ② 軽作業部門【カード揃えの部】 ③ 軽作業部門【封入の部】 ④ 調理部門に分かれて、審査・表彰を行いました。

事業結果



福井フェニックスロータリークラブ久保田副会長からの挨拶・表彰式、会員からの各部門の総評を行い、参加者がハンディキャップの中で懸命に練習・努力されている感動しました。この「セルブ総合スキルコンテスト」で学んだことを生かして、今後参加者の皆様方の、就労・生きる力の引き出しの向上になれば、後援して良かったと思います。

新聞、TV等での報道

福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送、福井テレビ で報道されました。

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 池田 一博
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	本向寺清掃活動				
実施日	2024年8月4日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	本向寺				
協力団体					
参加人数	会員	24	名	→→ 会員参加率	55.32 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	50周年目の物故者法要例会に備えて本向寺様の清掃活動を行いました。本堂の中、本堂周辺の清掃。				

事業結果	<p>広い本堂のたたみ・床の拭き掃除、本堂周辺の草むしりなど、暑い中ではありましたが、参加者全員で汗を流しました。8月19日の物故者法要を気持ちよくむかえる事ができました。</p> 				
------	---	--	--	--	--

新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	円				
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 池田 一博
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	一乗谷朝倉氏遺跡唐門前広場外来種除草作業		
実施日	2024年9月22日	↑継続事業の場合	5 年
実施場所	一乗谷朝倉氏遺跡唐門前広場		
協力団体			
参加人数	会員 市民 その他	27 0 RAC8名 + 事務局員1名	名 →→ 会員参加率 48.98 %
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		
事業目的及び事業内容	<p>50周年式典事業の直前に日程を組み、より清潔整然な会場環境作りを行いました。</p>		

事業結果	<p>近年、北陸新幹線開通の影響で、観光客も増えている一乗谷朝倉氏遺跡。今回は、当クラブの50周年記念式典の会場となるため、更なる福井の観光イメージアップ期待します。</p> 	
------	--	--

新聞、TV等での報道		
事業予算	円	
事業執行額	655	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 池田 一博
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	福井県立盲学校除草作業				
実施日	2024年10月19日			↑継続事業の場合	11 年
実施場所	福井県立盲学校校内周辺				
協力団体					
参加人数	会員	19	名 →→ 会員参加率	38	%
	市民	0	名		
	その他	事務局員	1名		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容	学校祭に合わせ、学校周辺の除草作業を行いました。				
------------	--------------------------	--	--	--	--

事業結果	あいにくの雨という悪天候でしたが、校内周辺の草刈りを行った。草刈り機持参の会員もたくさんおり、作業も大変はかりず学校環境も整備された。				

新聞、TV等での報道					
------------	--	--	--	--	--

事業予算	円				
事業執行額	円				
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 池田 一博
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	春の足羽川清掃活動				
実施日	2025年3月9日	↑継続事業の場合		23	年
実施場所	足羽川 木田橋～板垣橋右岸				
協力団体	NPO法人 ドラゴンリバー交流会				
参加人数	会員 16 名 →→ 会員参加率 34 %				
	市民 0 名				
	その他 事務員1名 52団体				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	地元で活動している団体とともに豊かで潤いのある河川環境の保全のため				

事業結果	<p>指定されている区域の河川敷を歩きながら、燃えるゴミ、燃えないゴミの区別をしつつ、ゴミ拾いを行った。ゴミの量は、可燃ごみ260kg、不燃ごみ480kg、粗大ごみ530kgの量であった。天候もめぐまれ、けが人もなくスムーズな清掃活動が出来た。</p> 	
-------------	---	--

新聞、TV等での報道		
事業予算	円	
事業執行額	2,017	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 豊嶋 雅子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	足羽川清掃活動						
実施日	2025年3月9日（日）		↑継続事業の場合		年		
実施場所	福井市内約2キロに渡る足羽川沿い。担当区域：足羽川右岸（泉橋から板垣橋）						
協力団体	主催：NPO法人 ドラゴンリバー交流会 参加団体：約50団体						
参加人数	会員	18	名	→→ 会員参加率	17 %		
	市民	多数	名				
	その他 福井北RC家族3名+会員企業社員14名						

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

NPO法人 ドラゴンリバー交流会の主催する足羽川清掃活動は今年で29回目を迎え、「春の足羽川を美しくしましょう～美しい九頭竜川流域と美しい日本海を守ります～」という呼びかけの下、足羽川沿いの各自治会、各公民館、各種団体、会社など多くの市民が集結して行われる。福井市内のRCもこの呼びかけに賛同し合同事業として参画。

事業結果

実施日当日は気温数°Cと朝方寒い中を、福井北RCからは会員ならびに会員家族、会員企業社員の総勢35名がチームとなり、担当区域（木田橋を中心に泉橋から板垣橋の足羽川右岸）の清掃活動を実施。収集したゴミは適切に分別のうえ、回収。3/22～4/6（天候により実際には期間延長）北陸新幹線福井開業1周年記念「ふくい桜まつり」には、美しくなった足羽川沿いに多くの市民の笑顔があふれました。



新聞、TV等での報道

特になし。

事業予算	0	円
事業執行額	0	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 豊嶋 雅子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	児童養護施設『ほほ咲みの郷』との「ふれあいの会」						
実施日	2025年4月19日（土）		↑継続事業の場合		年		
実施場所	児童養護施設『ほほ咲みの郷』（福井市花野谷町36-8-6）						
協力団体	NPO法人ふくい子どものための音楽教室・福井市ボランティア連絡協議会						
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	18 %		
	市民		名				
	その他	(施設児童25名+施設スタッフ12名+協力団体7名+福井北RC会員家族1名)					

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

様々な環境からこの児童養護施設に集う子供たちにとって、他人同士のなかでの家庭的な雰囲気づくりの可能性、また社会性という点では体験、経験がまだまだ足りていないという施設運営側の厳しさを伺い、ロータリアンのみなさんが子供たちと「自然体で触れ合う・交流する」場づくりとして、ささやかな「ふれあいの会」を持つこととする。スローガンは、「児童養護施設『ほほ咲みの郷』との「ふれあいの会」～思いっきり遊んでお腹いっぱい食べよう（＾＾♪～」金品による支援も尊い意思によるものですが、未来を担うこの子たちに真に求められる愛情、そして日常を、「4つのテスト」に照らして届けるものとする。

事業結果

4月2日(水)例会にて『ほほ咲みの郷』施設長による卓話開催。現状と課題、今後の取組みを伺う。例会参加ロータリアンに本事業支援募金を呼び掛け、クラブ一体となった取組みに展開。4月19日(土)同施設多目的会議室を利用し、活動に賛同頂いた外部団体の協力のもと「わらべうたあそび」「レクリエーションボッチャ」を。屋外スペースで地元で有名な秋吉焼鳥屋台・谷口屋出来立てあつあつ厚あげ・モツチモチおにぎり・スイーツを頬張りながら、参加者全員打ち解けあって盛大なビンゴゲーム大会を。当日ロータリアンは自費参加、最後に施設内見学minimini研修受講。小さくとも息の長い活動に繋げることで、インクルーシブな輪の広がることを願う。



新聞、TV等での報道

①福井新聞2025年4月20日第3面掲載記事

②児童養護施設『ほほ咲みの郷』HPブログに
「福井北ロータリークラブ様との交流」と題して、ひとこまが掲載
<https://www.keichoukai.or.jp/hohoemi/archives/1168>



事業予算	225,000	円
事業執行額	221,280	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

福井南

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 副会長・奉仕プロジェクト委員長
 氏 名 : 板津 明
 担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ドラゴンリバー 足羽川河原清掃活動							
実施日	2025年3月9日	↑継続事業の場合			11 年			
実施場所	福井市内足羽川河原 木田橋南側							
協力団体								
参加人数	会員 11 名 →→ 会員参加率 46 %							
	市民 多数 名							
	その他							
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他							

事業目的及び事業内容

NPO法人ドラゴンリバー交流会が呼びかける「クリーンアップ福井大作戦」に今年度も参加した。福井市中央に流れる足羽川河原を約50団体が一斉に清掃し、安心して市民が楽しめる環境になるよう協力した。

事業結果

8:00に集合。燃えるゴミ、燃えないゴミ用とゴミ袋2つを各自携行して河原全面のゴミを徹底的に拾い集めた。今年は2月下旬にたくさんの雪が降りましたが、清掃当日には雪がなくなり、河原は綺麗になりました。桜の名所で知られる足羽川堤防での花見も楽しめるでしょう。



新聞、TV等での報道

事業予算	3,000	円
事業執行額	2,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中村淳

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	里子、里親のためのふれ合いクリスマス家族会				
実施日	2025年12月21日				↑継続事業の場合 年
実施場所	福井県生活学習館ユー・アイふくい				
協力団体	福井県里親会				
参加人数	会員	13	名 →→ 会員参加率	50	%
	市民	100	名		
	その他	20			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

親の都合や児童虐待などの理由で、親から離れて里親のもとでくらす里子の皆さんが楽しむクリスマスを過ごせるような機会をつくり、里子・里親の交流を深めることを事業目的とする。生楽器の演奏や体験型のバルーアートショー、音楽のワークショップ、ビンゴ大会などを行って、里子の皆さんに楽しんでもらった。

事業結果

100名を超える方々に参加してもらった。参加した里親、里子の皆さんには、皆さん楽しんでもらえたようで、皆さん笑顔で過ごされていた。

また、後述のとおり、今回の事業が各マスメディアで取り上げられており、里親会の存在や里子の置かれた状況が広く報道されたことで、里子支援の輪が広がっていくのではないかと期待している。

さらに、今回の事業で、福井県里親会や、児童養護施設出身の方々で構成されているエズピエスとも交流ができ、今後の継続的奉仕活動のきっかけができた。



新聞、TV等での報道

地元テレビ局や地元紙で今回の事業が取り上げられた。

事業予算	998,110	円
事業執行額	906,273	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 毛利長久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	水仙狩り			
実施日	2024年12月29日	↑継続事業の場合	25	年
実施場所	福井市越廻			
協力団体	福井市こしの水仙部会			
参加人数	会員	7 名	→→ 会員参加率	30.4 %
	市民	1 名		
	その他			
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

福井県の県花でもある水仙、また当クラブの名前でもある水仙と深くかかわり読けようと、クラブ発足時からの事業である。毎年12月中旬頃に水仙の発育状況に応じて刈り取りをし、ガバナー事務所をはじめ日頃からお世話になっている方々にお送りしている。

事業結果

今年も発育状況が悪く、予定を延期し刈り取りを実施した。



新聞、TV等での報道

事業予算	40,000	円
事業執行額	37,600	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

福井水仙

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 毛利長久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	フライングディスク大会発達障害者			
実施日	2025年6月7日	↑継続事業の場合	3	年
実施場所	福井陸上競技場			
協力団体	福井県障害者フライングディスク協会			
参加人数	会員 市民 その他	8 名	→→ 会員参加率 名	34.7 %

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

フライングディスクは障害者でも高齢者でも参加できるスポーツでもあり、福井水仙ロータリーでは、このスポーツの県内普及を図り、障害者への理解を啓発することを目的とし、大会を支援、参加、体感することにより理解を深める。

事業結果

県内各地から参加者も多く、天気も快晴の中、盛大に開催する事が出来た。
開催中けが人もなく、おおいに盛り上がり、ロータリークラブ 高校生のボランティアと共に競技の記録やディスク回収などの手伝いをした。



新聞、TV等での報道

福井新聞に掲載

事業予算	0	円
事業執行額	0	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

勝山

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 和田耕三

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	長山ロータリー公園清掃作業				
実施日	2025年5月18日			↑継続事業の場合	55 年
実施場所	勝山市 長山ツツジ公園				
協力団体	なし				
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	68.18 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

昭和46年5月、勝山ロータリークラブ創立10周年記念に長山公園休憩広場につつじの苗木760本の植樹をし、10周年記念樹として贈呈した。以来公園の落ち葉の清掃やつじの剪定を早朝例会として行っている。

事業結果



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	5,000	円
事業執行額	3,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

丸岡

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 東角 操

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	能登地震被災地での炊き出し						
実施日	2024年8月11日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	石川県珠洲市大谷町避難所						
協力団体	NPO法人ふくい災害ボランティアネット						
参加人数	会員	12	名	→→ 会員参加率	40 %		
	市民	12	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

目的

能登半島地震の被災者の心を少しでも明るくする。また、事業を通して、被災者に寄り添うこと

で、いつまでも能登の人達を忘れないという発信を行う。

事業内容

被災地の仮設住宅に入った被災者を対象に、仮設住宅の空地を利用して夏祭り＆炊出しを行う。

事業結果

参加したメンバーによる炊出しを通じて、被災者と交流する事ができた。それにより、被災者は、暗い毎日から前向きな気持ちに少しあなつもらえたと思う。

また、参加した人は、被災地や被災者の現状と被災地への支援の大しさを理解し、今後の支援につなげることが出来たと思う。



新聞、TV等での報道

福井新聞での報道

事業予算	650,000	円
事業執行額	541,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

丸岡

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 東角 操

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	タイ人技能実習生との交流会				
実施日	2025年3月1日				↑継続事業の場合 年
実施場所	福井県坂井市丸岡町八ヶ郷のうねミニティセンター				
協力団体	プラティープ財団ふくい支援の会				
参加人数	会員	12	名	→→ 会員参加率	40 %
	市民	65	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

目的

丸岡ロータリークラブの10年に渡る国際奉仕事業の果実として生まれた福井県タイ介護人材育成プロジェクトで働く技能実習生とタイスタディツアーパートicipant者の交流により、お互いのグローバルな感性を高める。

事業内容

ひな祭りに合わせ、タイからの介護実習生とタイスタディツアーパートicipant者による餅つきを行う。ついた餅をたべながら食事交流会を開催する。

事業結果

技能実習生同士のふれあい交流、スタディツアーパートicipant者同士のふれあい交流、技能実習生とスタディツアーパートicipant者同士のふれあい交流を通じて、懇親を深めると共に日本の食文化を体験してもらう事ができた。

国の垣根なく、餅つきという共同作業を行い、その成果を食する事で世界の人々は助け合って生きていくということの大ささを学べた。



新聞、TV等での報道

福井新聞での報道



事業予算	120,000	円
事業執行額	48,385	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長

氏 名 : 藤井 良

担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	横断歩道サポート表示板事業						
実施日	2024年9月12日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	越前おおの結ステーション						
協力団体	大野市、大野商工会議所、大野警察署、大野交通安全協会						
参加人数	会員	5 名	→→ 会員参加率	13 %			
	市民	15 名					
	その他	8名					
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input checked="" type="checkbox"/> 5.その他						

事業目的及び事業内容

小学校の近くに観光客でにぎわうエリアがあり、平成7年には新たに屋内型の子供の遊び場施設もオープンする予定だが、横断歩道で停止しない車が多くて危険との市民の声もあり、また大野警察署からも相談された事もあり北陸3県で初となる「横断者サポート表示板」設置の費用の一部を負担する。

事業結果

センサーで感知するサポート表示板の設置により、トライバーに横断歩行者の存在を光って知らせるとともに横断歩道も緑色にカラー化され市民や観光客や子供たちの安全を確保する事が出来た。



新聞、TV等での報道

NHK、福井放送、福井テレビ、福井新聞、日刊県民福井、その他各報道機関に取材いただき報道・放映していただきました。

事業予算	100,000	円
事業執行額	219,670	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長

氏 名 : 藤井 良

担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	第16回正津・大野ロータリーカップ							
実施日	2024年10月26日	↑継続事業の場合			16 年			
実施場所	奥越ふれあい公園多目的グランド							
協力団体	大野市軟式野球連盟							
参加人数	会員	21	名	→→ 会員参加率	55 %			
	市民	37	名					
	その他	28						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他							

事業目的及び事業内容

大野市出身でプロ野球で活躍された正津英志氏の功績を称えるとともに、子供たちが野球という団体スポーツを通して健全な心身の育成を図る事、また礼儀やマナー、チームワークやコミュニケーション能力を養い学校生活や将来の社会生活でも役立つ力を育んで欲しい。参加3チームによる総当たり戦

事業結果

参加して下さった3チームが一生懸命にプレーして大変盛り上がった大会となった。野球連盟の皆様には審判として大変な協力をありがとうございました。また、ご父兄等にもグランド整備などで協力を頂き、参加したチームの選手達からは自分たちが野球ができる環境に対する感謝する言葉を頂きました。



新聞、TV等での報道

福井新聞社に取材と報道をしていただきました。

事業予算	300,000	円
事業執行額	93,161	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長

氏 名 : 藤井 良

担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	芝生化グリーンプロジェクト ~緑の園庭をはだしで走り回ろう~						
実施日	2025年6月14日	↑継続事業の場合		4回目	年		
実施場所	誓念寺こども園(中荒井町)						
協力団体	誓念寺こども園						
参加人数	会員	26	名	→→ 会員参加率	65 %		
	市民	41	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

今年で4回目となる市内こども園の園庭を芝生にして、元気よく裸足で遊んだり運動が出来る環境を提供する事で、将来の大野市を担う子供たちが心身ともに健康に育ち成長してくれる事を支援する。

今回は誓念寺こども園(中荒井町)の園庭を会員、園児や保護者、こども園関係者とともに作業をして芝生の苗を植える。

事業結果

当時は雨模様にも関わらず、早朝より多くの会員が参加され、こども園関係者や保護者の方も大勢参加して下さい。予定していた時間より大幅に早く作業を終了しました。また、園児が芝生を植える時間帯には雨も上がり、園児たちも楽しそうに作業に参加することが出来ました。



新聞、TV等での報道

この報告書作成する2日前の事業で、まだ新聞に掲載されていませんが当日は福井新聞様が取材に来て下さいました。

事業予算	941,728	円
事業執行額	904,160	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 大橋 良史
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	止まって！横断歩道歩行者優先プロジェクト		
実施日	2025年3月14日（金）～4月12日（土）	↑継続事業の場合	年
実施場所	鯖江市 舟津神社付近 交差点（街頭活動は市内各所）		
協力団体	鯖江市、鯖江警察署、鯖江高校、惜陰小学校、近隣町内		
参加人数	会員 35 名 →→ 会員参加率 85.7 %		
	市民 20 名		
その他	鯖江市職員2名、鯖江警察署署員3名、来賓5名		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

福井県は、横断歩道で歩行者が待機しているときの自動車の停止率が2年連続全国ワースト3位ということで、横断歩道での歩行者優先の意識の向上を目的として、3月に街頭で市民に啓蒙活動を行い、4月に横断歩行者注意喚起灯（ゆづるくん）を設置し、停止率の向上に繋がるように活動した。街頭啓蒙活動・3月14日 丹南病院交差点・3月21日 サバエ・シティーホテル交差点。横断歩行者注意喚起灯セレモニーは4月12日。設置セレモニーでは、近隣の舟津神社の宮司にも協力をいただき、交通安全祈願祭も執り行って、地域の児童と共に渡り初めをした。

事業結果

横断者注意喚起灯は、センサーに手をかざすとポールの上についている信号のような喚起灯が点滅し、事故の多い薄暮で効果を發揮する。今回この事業を企画かいさいしたこと、行政と警察署と共に協力していく体制が整い、今後も市内及び県内で設置する動きが高まると思われる。



新聞、TV等での報道

福井新聞、日刊県民福井での掲載、こしの都ネットワーク（ケーブルテレビ）での放送など。



事業予算	1,085,920 円
事業執行額	1,085,920 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

2024-25年度

武生

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 柿谷好彦

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	「子供と障がい者のためのコンサート～ポリオのない世界を～」								
実施日	令和6年 9月 1日(土)	↑継続事業の場合							
実施場所	武生文化センター								
協力団体	武生国際音楽祭								
参加人数	会員 32 名 →→ 会員参加率 72 %								
	市民 250 名								
	その他 武生国際音楽祭関係者・演奏者								
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他								

事業目的及び事業内容

第35回を迎える「武生国際音楽祭」に、国内外より若い音楽家が多数集います。そこで本音楽祭開幕直前に、参考した音楽家と武生国際音楽祭推進会議のご協力の下、武生RCがコンサートを主催し、日頃クラシック音楽に接する機会の少ない「幼児や障害を持つ方々に心やすく音楽を楽しみ頂き、併せて本コンサートならび武生国際音楽祭期間の来聴者にポリオ根絶について啓発活動を行う。

事業結果

多くの親子連れが、コンサートに参加して頂きまして、音楽家達が事前に用意して頂いた子供達への音楽を、沢山演奏をして頂き、それぞれに音楽を楽しんで頂けたと思います。また、

「武生国際音楽祭」期間中に、毎日行った、来聴者にポリオ根絶について啓発活動は、武生東高校のインター アクトの生徒達のお手伝いをして頂き、多くの募金を集めることができました。また、ポリオ根絶募金額は、25万円ほど集まりました。



新聞、TV等での報道

事業予算	857,640 円
------	-----------

事業執行額	1,009,661 円
-------	-------------

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他
----------------------	--

2024-25年度

武生

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 柿谷好彦

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	吉野瀬川河川敷奉仕作業						
実施日	令和7年3月22日(土)		↑継続事業の場合		年		
実施場所	吉野瀬川河川敷						
協力団体	武生東高校生						
参加人数	会員	26	名	→→ 会員参加率	60 %		
	市民	0	名				
	その他 武生東高校生インタークト 7名						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

市民の桜の名所である吉野瀬川河川敷を、桜開花前に清掃作業を行い、花見に来られた市民の方が、気持ちよくお花見が出来るように、清掃社会奉仕活動とする。

事業結果

吉野瀬川河川敷の歩道や、河川の清掃ができる、市民の人達が、気持ちよく桜の花見を行うことが出来るようになったと思います。



新聞、TV等での報道

事業予算	140,000	円
事業執行額	94,962	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

武生

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 柿谷好彦

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	パラダイス会との交流事業「植樹と花壇作り」								
実施日	令和7年 5月 11日(日)	↑継続事業の場合		年					
実施場所	パラダイス農園								
協力団体	越前市社会福祉協議会								
参加人数	会員 23 名 →→ 会員参加率 52 %								
	市民 45 名								
	その他								
	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他								

事業目的及び事業内容

今年で「パラダイス会」（ろう者支援団体）との交流も3年目となり、昨年70周年で備えた、備品の確認と、農園の更なる整備・果実等の記念植樹・花壇作りをして、互いに協力しながら汗を流し、その後に農園での食事会の交流を交えた奉仕作業を行いました。

事業結果

皆さんの協力のおかげで、4種類（レモン・ゆず・すだち・アーモンド）×3本の植樹、半径2.5メートルの円形の花壇を作り、いく種類のは野を植えることが出来ました。また、その後の懇親会は、「パラダイス会」の皆さんが、農園で取れた野菜も使った手作り料理を、皆さんに奮って頂き、楽しく交流の時間を過ごすことが出来ました。



新聞、TV等での報道

事業予算	370,000	円
事業執行額	310,863	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 幹事
 氏 名 : 木原 茂豪
 担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	敦賀市内公立保育施設への優良図書（絵本等）の贈呈							
実施日	2024年11月19日～12月6日	↑継続事業の場合			年			
実施場所	敦賀市内全11公立保育施設							
協力団体	敦賀市 教育委員会学校教育課、敦賀市 福祉保健部保育課							
参加人数	会員 18 名 →→ 会員参加率 70 %	市民 650 名						
その他								

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

【事業目的】現在敦賀市内に公立の幼稚園・保育園が11施設存在する。スマホやパソコンの普及で、読書離れが深刻な問題になっていることから、幼少期の時期から読書に興味を持ち楽しさを感じてもらい、習慣化することを目的とする。

【事業内容】保育施設側から優良図書を選定して頂き、購入した図書を11施設分仕分け作業を行った。その際ロータリーマーク入りの図書シールを貼付した。そして11施設に向け2～3名ほどで配布グループを設け、各箇所に優良図書を配布し、図書目録を用いて本の内容を説明した。また会長、幹事、公共イメージ委員長が米澤敦賀市長を訪ね、図書の贈呈式を行った。

事業結果

多くのメンバーが事業内容を理解し、仕分け作業や配布など何らかの形で本事業に関わることができた。書籍を贈呈した際、園児が興味深く本のところに集まり、うれしそうに眺めていた。読書を習慣化してもらうことによって、園児の成長（教養、学力、感受性、知性）を促進していくことに寄与することを期待したい。併せて書籍という特性上、今後不特定多数の児童に活用されることから、長期にわたって所期の効果の継続した実現を期待したい。



新聞、TV等での報道

図書贈呈や御礼の園児の歌の模様が、ケーブルテレビ（嶺南ケーブルネットワーク）のトピックで放映された。

事業予算	830,000 円
事業執行額	827,367 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

2024-25年度

若狭

ロータリークラブ

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 前田良治

担当委員会名 : 社会・職業奉仕委員会

事業名	歳末防犯・防火に対する慰労と激励会				
実施日	2024年12月10日(火)			↑継続事業の場合	32 年
実施場所	小浜警察署・若狭消防本部				
協力団体	単独継続事業				
参加人数	会員	3 名	→→ 会員参加率	20 %	
	市民	50 名			
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input checked="" type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

地域住民の皆さまの安心安全を守っていただく小浜警察署さんと若狭消防署さんに日頃の感謝を込めて、歳末の慌ただしくなる時期にカップ麺の贈呈を行った。

事業結果



新聞、TV等での報道

会長より小浜警察署署長と消防署署長へ目録寄贈と激励挨拶の様子を、地域のケーブルテレビ（チャンネル0）さんより放送されました。クラブの社会奉仕活動の周知を図ることが出来ました。

事業予算	40,000	円
事業執行額	40,920	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 神田 重樹
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	七夕飾り寄贈							
実施日	2024年6月30日～2024年7月8日	↑継続事業の場合			17 年			
実施場所	近江八幡市立総合医療センター							
協力団体								
参加人数	会員 50 名 →→ 会員参加率 73.5 %							
	市民 300 名							
	その他							

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

入院・外来患者様やご家族や医療従事者の方々に短冊に願い事を記入いただき笹竹に吊るしていただき心の癒しになることを目的としています。

事業結果

当クラブメンバーからも同内容の短冊を記し、事前にご記入いただいた医療従事者の短冊とともに事前飾りつけを行い同センターに設営・寄贈を行うと、この期間内に患者様・ご家族からも続々と願いを綴った短冊が1000枚を超える規模となり、患者様や医療従事者様に少なからずとも心のよりどころになれたのではないかと思います。また、事業最終日（撤収時）には佐橋会員（領善寺）にてご祈祷を行っていただき、皆様の祈願成就が叶いますようお祈りをさせていただきました。社会奉仕委員会メンバーをはじめ多くの有志メンバーには、設営から撤去までご協力いただいたことに感謝いたします。



新聞、TV等での報道

ZTV

中日新聞

滋賀報知新聞

事業予算	30,000	円
事業執行額	31,224	円
この事業の 主な財源	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 神田 重樹
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	JR近江八幡駅前北口広場イルミネーション飾り事業		
実施日	2024年11月23日～2025年1月31日	↑継続事業の場合	10 年
実施場所	JR近江八幡駅前北口広場		
協力団体	ヴォーリズ学園インタークトクラブ		
参加人数	会員 40 名	→→ 会員参加率 58.8 %	
	市民 200 名		
	その他		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

駅前広場でイルミネーション電飾を行い、地域活性化を目指す。（事業目的）
本年度はヴォーリズ学園インタークトクラブの生徒たちが、「労い」をテーマにデザインを検討し、びわ湖八幡ロータリークラブと共に企画・作成を行いました。（事業内容）

事業結果

IACと一緒に沢山のクラブメンバーが参加してくれ当日の飾り付けだけでなく事前準備から一緒に作業し交流も深まったと思います。点灯式では電飾に包まれながらヴォーリズ学園の吹奏楽部による演奏で駅前を飾る事ができました。地域の方も「毎年楽しみにしている」「本当に駅前が綺麗で嬉しい」などのお声を頂き事業目的の地域活性化を目指せたと感じました。また今回近江八幡市長にも点灯式にご参加いただき、恒例事業としての認識も向上したと自負しております。



新聞、TV等での報道

ZTV
滋賀報知新聞



事業予算	700,000	円
事業執行額	610,633	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 西崎 彰
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	五個荘ゴミゼロウォーク						
実施日	2025年 5月31日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	五個荘コミュニティーセンター周辺 中山道						
協力団体	五個荘地区まちづくり協議会						
参加人数	会員	11	名	→→ 会員参加率	35 %		
	市民	40	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

事業目的 五個荘環境美化活動
 事業内容 五個荘の街並み清掃作業 参加者へ記念品（ボールペン）を配布

事業結果

五個荘の街並みを歩きながら、清掃活動を行い、歴史にも触れることができ、地域愛を育んでいきたい。
 次年度にもつないでいけるように、毎年恒例の事業としていきたい。



新聞、TV等での報道

東近江ケーブルネットワーク

事業予算	0	円
事業執行額	20,680	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

2024-25年度

東近江

ロータリークラブ

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 奥 敦男
担当委員会名		: 社会・青少年奉仕委員会

事業名	未来につなげる支援の「わ」				
実施日	2024年9月10日から2025年3月31日			↑継続事業の場合	年
実施場所	滋賀県東近江市八日市町12 太子ホール				
協力団体	おてんとさん、八日市南高校				
参加人数	会員	30	名	→→ 会員参加率	77 %
	市民	5	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

子ども食堂の周知により、支援者や支援企業を増やし、食堂にやってくる子供たちへ安心できる場所を決まった曜日に必ず提供できるよう、おてんとさんの活動を応援する。そのため食堂会場のキッチンスペース設置と食材の支援、配布食品の袋詰めのお手伝いを高校生ボランティアに協力を請し、スムーズな食堂の開催と支援のわを拡げた。

事業結果

子ども食堂の永続的な活動が期待できる。地域ぐるみで子ども達の居場所確保や、要支援家庭、不登校児童の見守りが期待できる。



新聞、TV等での報道

滋賀報知新聞、スマイルネット

事業予算	963,982	円
事業執行額	963,982	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 小田柿 喜暢

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	高齢者疑似体験を通した“子どもたちの高齢者理解”								
実施日	2025年3月24日、4月5日、5月24日	↑継続事業の場合							
・	彦根市障害者福祉センター、彦根市中地区公民館								
協力団体	社会福祉法人彦根市社会福祉協議会								
参加人数	会員	22	名	→→ 会員参加率	46 %				
	市民	17	名						
	その他								
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

本格的な高齢社会が到来している一方で、子どもたちが身近に高齢者と接する機会は決して多くはない。市内の小学校におけるシニア体験の機会が増えることで、今後も増え続ける高齢者への理解や接し方を子どもたちが学ぶことができる。小学校のみならず市内の小中学校や大学、地域においても、シニア体験ができる機会を設けていく。

これらを通して、高齢者に優しい地域づくり・ヒトづくりへつなげていく。

事業結果

指導者（サポーター）養成講座の開催(4月5日)、小学生から高校生対象のシニア体験会の開催(5月24日)を実施しました。また、この4月に寄贈した高齢者疑似体験キットを民間企業（従業員33名）が借りられて社員教育に活用されました。これから高齢者疑似体験キットを活用したセミナーが予定されていて、6月に小学校1校、2学期に小学校2校が学びを実施される予定です。



新聞、TV等での報道

彦根新聞にて高齢者疑似体験キットの寄贈式の記事掲載。

事業予算	967,600	円
事業執行額	916,940	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 尾崎 雄
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	彦根城を世界遺産に登録するための啓発活動～千田嘉博氏 講演会～		
実施日	2024年9月7日（土）	↑継続事業の場合	年
実施場所	ひこね市文化プラザ グランドホール（滋賀県彦根市野瀬町187-4）		
協力団体	彦根商工会議所、ひこね市文化プラザ		
参加人数	会員 28 名 →→ 会員参加率 52.8 %		
	市民 1200 名		
	その他		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

奈良大学特別教授 千田嘉博氏を講師に迎えた講演会を通じ、彦根城の文化的・歴史的価値について市民に広く伝え、世界遺産登録に向けた意識を醸成することを目的とした。
会場設営・広報・運営等をロータリアンが担い、地域団体とも連携して実施。

事業結果

全国的に著名な奈良大学教授・城郭考古学者の千田嘉博氏による講演は、専門的でありながらもわかりやすく、来場者から高い評価を得た。
当日は約1,200名の来場があり、会場は満席となり、市民の関心の高さと期待がうかがえた。
来賓として彦根市長の出席もあり、行政関係者を含む多くの地域関係者が参加する意義ある催しとなった。
彦根商工会議所およびひこね市文化プラザの協力により、広報・チケット配布・当日の運営まで円滑に遂行できた。
ロータリアンおよびインタークトクラブの協力のもと、受付・誘導・設営など運営面でもクラブの奉仕精神が發揮された。
本講演会を通じて、地域住民の間で彦根城の文化的価値に対する理解と関心が一層高まり、世界遺産登録に向けた地域の意識醸成に大きく貢献した。



新聞、TV等での報道

事業予算	円
事業執行額	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 石神義隆
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	甲賀市鉄道利用促進事業				
実施日	2024年10月19日			↑継続事業の場合	年
実施場所	甲賀市貴生川駅南口プラット広場・信楽高原鉄道信楽駅前				
協力団体	甲賀市・(一社)甲賀市観光まちづくり協会・貴生川自治振興会・ダンスマジオライン				
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	78 %
	市民	1000	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

甲賀市には「信楽高原鉄道、近江鉄道、JR草津線」の3路線があり、我々の地域経済活動の一役を担っています。しかし鉄道事業は採算がとりにくく、利用者減により減便が行われ、さらに利用しづらくなり、廃線もあり得る状況です。そこで、甲賀ロータリークラブは今の現状を市民と共に再認識し、電車の必要性を共に共有することで、今後の利用促進に繋がると考え、プロジェクトを開催しました。当日は鉄道タレント斎藤雪乃様・元近鉄広報福原トシノリ様・立命館大学鉄道研究会をお呼びし、トークショー「鉄道はおもしろい！」を実施。また、ミニ忍びトレインや、立命館大学鉄道研究会による写真展示、プラレール展示等により電車の魅力を最大限伝えることができました。また、近江鉄道が行う100円一日のり放題の日（ガチャフェス）に合わせることで、集客に努めました。

事業結果

この事業にて、甲賀市、(一社)甲賀市観光まちづくり協会等に地域の鉄道の必要性を再認識して頂くことができました。また、貴生川自治振興会様をはじめ、一部の市民の皆様にも共有して頂けたと思います。今後の鉄道の促進事業については、(一社)甲賀市観光まちづくり協会が主導となり、甲賀市等が協力して行うことになりました。また、福原トシノリ様については甲賀市の鉄道についてコンサルティング立場として今後も担っていただけるお約束もしました。今後も甲賀ロータリークラブは甲賀市の鉄道について学び、サポートします。



新聞、TV等での報道

地元広報誌やYouTube等で情報を発信した。

事業予算	1,250,559	円
事業執行額	1,250,559	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山本 忠志

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	2025国スポ障spoウェルカムイベント								
実施日	2024年（令和6年）9月22日（日）	↑継続事業の場合		年					
実施場所	湖南市総合体育館								
協力団体	湖南市スポーツ協会 湖南市文化スポーツ課								
参加人数	会員 21	会員参加率 49 %							
	市民 640 名								
	その他								
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他								

事業目的及び事業内容

【目的】2025年に滋賀県にて第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催にあたり、1年前のプレイベント開催により、大会の成功とPR、開催までの機運が高まることを目的とする。

【事業内容】国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会のプレイベント開催。対象種目は「剣道」「キンボール」「障害者バレーボール」日本剣道形を披露していただくにあたり、居合刀3本を進呈、キンボールの指導をいただき、キンボール4個を進呈、障害者バレーボール推進にあたり、バレーボール10個を進呈した。剣道はアピールムービーを作成した。

事業結果

【剣道】日本剣道形はピリッとした空気感の中、素晴らしい演武を拝見、子供たちも見入っていた。全ての競技において体験をいただき、来年この競技が国スポで実施されることを感じられる事業となつた。子供たちに本番を見てもらえば大変喜ばしいと思う。



新聞、TV等での報道

剣道アピールムービーは各行政のモニターにて配信中。

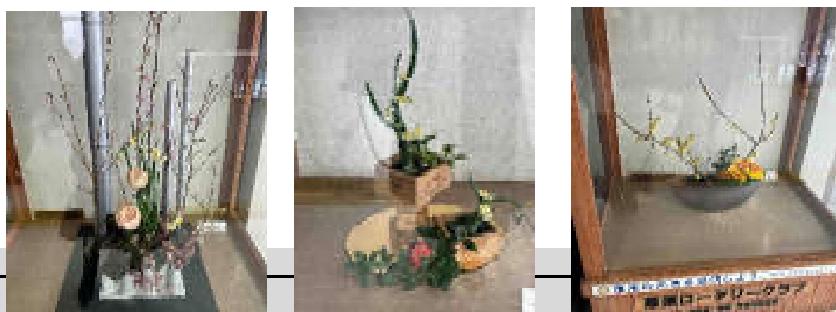
事業予算	837,870 円
事業執行額	837,870 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 吉岡健二
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	フラワーBOXの生花提供事業		
実施日	通年	↑継続事業の場合	54年・30年
実施場所	JR草津駅・JR南草津駅		
協力団体	草津市花道協会・光泉カトリック中学・高等学校		
参加人数	会員 市民 その他	名 →→ 会員参加率 名	%
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

駅利用者に憩いの場を提供する事を目的とし、草津市花道協会・光泉カトリック中学・高等学校のご協力のもと、季節の生け花や作品の展示を継続して行っています。



事業結果

継続事業であるJR草津駅・南草津駅に設置のFlower BOX内に草津市花道協会・光泉カトリック中学・高等学校の協力の下、生花や作品の展示を行った。今年度は生花展示中に草津駅設置のBOXが破損されるというアクシデントに見舞われたが、幸い被害は軽微で早急に修復・展示再開する事ができた。修復作業の現場に立ち会った際、「いつも見ています。」「以前から楽しみにしていたのに、ケースが割られていて、びっくりしました。これからも続けてください。」等、多くの方から声を掛けいただき、この事業が地元に浸透している事、多くの方に喜んでいただいていることを再確認でき、花道協会の方とも喜びあつた。今後も続けていきたい事業であるが展示BOXの経年劣化も目立ち、新調を検討する時期に来ていると思われる所以今後の課題のひとつとしたい。また、本事業をきっかけとして、さらなる社会への奉仕の形を模索したかったが、十分な成果を挙げられなかつた事は反省点としたい。地区内のさまざまな社会奉仕事業も参考に今後の展開を検討したい。

新聞、TV等での報道

事業予算	150,000	円
事業執行額	135,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 杉江 尋幸
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	びわこ地球市民の森のつどい「森フェス」 ポリオデー		
実施日	2025年6月1日	↑継続事業の場合	3 年
実施場所	滋賀県守山市水保町2727		
協力団体	近江ライオンズクラブ・公益社団法人滋賀県緑化推進会・(株)みらいもりやま21・その他		
参加人数	会員 18 名 →→ 会員参加率 40.91 %		
	市民 約4,400 名		
	その他		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

地球市民の森のつどい開催に向け、各種団体と実行委員会での会議。ブースの設営・運営・撤去まで高所作業車の体験ブースを利用した、ロータリーのポリオ根絶活動の周知と、ポリオプラスへの募金活動



事業結果

例年通り大変人気の体験ブースで10時半の開始から約14時終了時間まで途切れることなく親子連れで賑わいました。体験は約3分/組で約200名強の親子が普段できない良い経験をしました。またポリオ根絶活動の周知とポリオプラスへの募金活動を行い、啓発用にポリオ根絶シールを張ったシャボン玉を提供し体験した子供たちにプレゼントし大喜びで良い活動が出来ました。



新聞、TV等での報道

広報もりやま

事業予算	53,288	円
事業執行額	32,656	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 木村 元
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	～リープノートレイスに学ぶ～美しい自然と仲良く楽しもう！		
実施日	令和6年11月17日（日）	↑継続事業の場合	年
実施場所	近江母の郷 および OUMIWAVE（神明キャンプ場）		
協力団体	スポーツ成蹊大学 滋賀文教短期大学		
参加人数	会員 30 名 →→ 会員参加率 50.8 %		
	市民 106 名		
その他	スポーツ成蹊大学10名 滋賀文教短期大学13名		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

西には琵琶湖、東には伊吹山に囲まれて自然豊かな魅力ある湖北地域に訪れるアウトドアに興味を持つ方が年々増えているが、環境意識の低い方が圧倒的に多い。環境倫理を学び周知していくことで、環境の保護と自然を生かした観光資源の発展に貢献する。

第一部では、アイスブレイク、基調講演ということで2会場に分かれて開催。第二部では、OUMIWAVEに移動して、7グループにて焚き火を生態系を傷つけないLNT流の方法で体験をし、「ゴミの一生」プログラムでは、びわ湖畔で集めたごみを種類ごとに分け、分解されるまで何年かかるかということ学習しました。

事業結果

びわこ成蹊スポーツ大学10名（リープノートレイスの第一人者である水津真委氏を含む）、滋賀文教短期大学13名（松本学長含む）のご協力を得て、湖北の美しい自然を守るため、親子で楽しみながら環境倫理を学ぶことができました。



新聞、TV等での報道

中日新聞、滋賀夕刊



事業予算	730,000 円
事業執行額	744,152 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 宮元 藤士一
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	マイクロファイバークロス雑巾寄贈				
実施日	2025年3月25日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	長浜市役所				
協力団体	長浜市教育委員会				
参加人数	会員	5	名	→→ 会員参加率	17 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

今年度創立35周年記念事業の取り組みとして、一つの支援が次の支援に繋がる循環型奉仕のしくみをこの事業からスタートさせ、創立40周年までの五カ年で定着させる計画です。市内のしょうがいを持つ人たちが働く作業所で作製されたマイクロファイバークロス雑巾を、市内小学校、特別支援学校に寄贈することで、一つの奉仕活動でいくつもの恩恵や効果が得られることを目指しています。

事業結果

2025(R7)年3月中に長浜市内全小学校へ配付。4月以降、特別支援学校へ配付。各学校からは好評をいただきました。



新聞、TV等での報道

2025年3月28日 滋賀夕刊長浜版掲載

事業予算	396,000	円
事業執行額	396,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 柴田 公一

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	北ノ庄沢の清掃 RCC (ロータリー地域共同隊)						
実施日	2024/12/1 (日)		↑継続事業の場合		21 年		
実施場所	近江八幡市北ノ庄村付近 西の湖～北ノ庄沢						
協力団体	RCC (ロータリー地域共同隊) 北ノ庄沢を守る会						
参加人数	会員	15	名 →→ 会員参加率	40	%		
	市民	30	名				
	その他 RCC (ロータリー地域共同隊) 北ノ庄沢を守る会 その他近隣企業						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		
事業目的及び事業内容							

2004年にロータリー地域社会共同隊（RCC）として国際ロータリーに認証していただきました。近江八幡市の環境保全と津田内湖再生運動として取り組んでおられる「北ノ庄沢を守る会」と共同事業として結成、以降毎年西の湖～北ノ庄沢付近の清掃活動に取り組んでいます。北ノ庄沢を守る会は毎月1回の清掃活動と草刈、ごみ拾いなど地域の企業とも協力して環境保全に取り組んでいます。

事業結果

今年で21年目を迎え、近隣企業の協力も得ることができてきました。今後も清掃活動を続けて、北ノ庄沢を守る会と共同で北ノ庄沢の環境保全に取り組んでいきたいと思います。



新聞、TV等での報道

報知新聞 ZTV (ケーブルテレビ) などの取材を受けています。また市の広報に掲載される年もあります。

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 理事

氏 名 : 山田 英樹

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	響動で取り組む子どもの居場所づくりフォーラム						
実施日	2024年11月19日			↑継続事業の場合 年			
実施場所	琵琶湖ホテル ローズの間						
協力団体	特定非営利活動法人あめんど、こどもソーシャルワークセンター、寺子屋共育轍、大津市福祉部こども未来局						
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	27 %		
	市民	12	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

子どもの居場所づくりに取り組まれている3つのNPO法人、大津市から活動報告（各10分）の後、パネルディスカッションを行った。その後、質疑応答を行い、現状の問題点についての理解を深めた。

事業結果

大津市内に居場所を必要とする子どもが多く存在することを認識致しました。NPO法人が様々な支援を行っておりますが、資金が不足している為、満足な活動が出来ない現状を知りました。今回のフォーラムで会員と市民に理解が深まったことがうかがえました。今後の支援の輪が広げていくきっかけになったと考えます。



新聞、TV等での報道

事業予算	107,150	円
事業執行額	107,150	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 会長

氏 名 : 宇田 豪

担当委員会名 : 青少年奉仕委員会

事業名	子ども達の未来へチャレンジ			
実施日	2024/12/21～2028/03/08	↑継続事業の場合	年	
実施場所	大津市におの浜4丁目、社会福祉法人のぞみ会、大津市浜大津5丁目大津港			
協力団体	滋賀県土木交通部河川課、滋賀県広報課、びわ湖大津観光協会 びわ湖モニュメント設置実行委員会			
参加人数	会員 19 名	→ 会員参加率 82 %		
	市民 70 名			
その他	竣工式典には、滋賀県知事、大津市長以下数百人			
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他			

事業目的及び事業内容

大津市内には4000名の片親の子ども達がいます。その中には安定した生活が送っていない子達が沢山おり、母子福祉施設のぞみ荘の支援を受けながら力強く生きてています。その子ども達の襲来を担い、将来の自分についての気付きと、数年後の自分の成長の記録を残してもらうため、ハンドスタンプ事業を行い、掲示することにしました。様々な団体が協力して頂ける形となり、組織を形成することが出来ました。ロータリーを基本とした組織において事業を実施するに下

事業結果

2024年11月に滋賀県河川課と協議し、ハンドスタンプのモニュメントの設置についての場所が決まりました。当初におの浜の大津プリンスホテル前の琵琶湖公園に設置の予定でしたが、もっとアピールできる大津港に設置してはとのご意見を頂き、設置場所の変更を行いました。また、実行委員会を設立し、BIWAKOの文字をあてはめる事となりました。のぞみ会様のクリスマス会において子ども達に趣旨の説明とハンドスタンプの実施、モニュメントにおいては、実行委員会の予算において大きな文字を設置し、琵琶湖観光のポイントとして、各種マスコミ等でも放映して頂いて降ります。



新聞、TV等での報道

当初の記者会見においては全国紙を含む新聞9社とNHKとびわ湖放送にて放映して頂きました。

事業予算	総予算450万	円
事業執行額	ロータリー支出 91万	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 巽美鈴
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	2025カッコーコンサート		
実施日	2025年3月29日	↑ 継続事業の場合	年
実施場所	びわ湖ホール（中ホール）		
協力団体	大津視覚障害者協会／社会福祉法人 滋賀県視覚障害者福祉協会／社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会びわこみみの里／聖パウロ学園光泉中学・高等学校 インターアクトクラブ		
参加人数	会員 市民 その他	22 約400 名	名 → 会員参加率 100 %
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

視覚障害者と聴覚障害者への大津市民を中心とした理解を深めるため、視覚障害者とともに組織される音楽グループの演奏会を実施した。また、視覚障害者や聴覚障害者にまつわる展示も併設し、普段身近に接しない情報を市民に提供するとともに、障害者の企業就労の機会を促進できるよう努めた。また、地域の児童合唱団も出演していただき、地域貢献も行える演奏会となつた。

事業結果

公募により視覚障害者を中心とした5つのバンドに出演していただき、大津市の児童合唱団と近隣市町のクラシックバレエ団体のコラボによる演出も行い、より多くの皆さんに障がいを持つ方への理解が深まる機会を作れました。また、会場ホワイエでは、各障害者協会の展示を行い、お客様との触れ合いができる場を提供いたしました。出演者の団体には、7年ぶりに再開したこのイベントを喜ぶお声をたくさん頂戴しました。会場内で集めた募金は滋賀県視覚障害者福祉協会へ寄付をいたしました。



新聞、TV等での報道

京都新聞



事業予算	901,350	円
事業執行額	1,097,903	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木下兼一

担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全

事業名	笑顔かがやく「りつとう子」応援プロジェクト						
実施日	令和6年8月 ~ 令和7年3月			↑継続事業の場合 年			
実施場所	子ども食堂、学童保育所、コミュニティーセンター						
協力団体	栗東市役所、栗東市社会福祉協議会、栗東生活支援協議会、その他企業・団体・機関						
参加人数	会員	65	名	→→ 会員参加率	90 %		
	市民	360	名				
	その他 35(企業・団体・機関)						

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

・事業目的 日々の生活に不自由な思いをしている子ども達、不安定な環境の中で、健気に頑張る子ども達に、元気と笑顔が届けられるよう「子ども食堂」など市民活動団体に対して支援を行う。



・事業内容 ①みんなでみよう「氷の彫刻」②子ども食堂ボランティアとシェフによる調理の研修と交流会③グローバル子ども食堂④子ども食堂フェスティバル（ホテルのシェフ特製料理を提供遊びコーナーを設営）⑤お祝い子ども食堂（栗東市内9カ所の子ども食堂にデザートをプレゼント）

事業結果

コロナ禍の後遺症や諸物価の高騰等により、日々の生活でさまざまな課題を抱える家庭が増えしており、子どもたちにとっても、お楽しみの行事や縮小や自由な活動が制限されるなど不自由な思いをしている。また、日常的に家事を担い家族の世話をする不安定な状況のなかで、健気に頑張る子どももあり、こうした環境におかれている子どもたちに元気と笑顔を届ける為、一流シェフが調理する食事会など仲間との交遊を通して心のリフレッシュと明日への英気を買うことができた。

計画プロジェクトの運営資金は地区補助金を活用し、関係者の協力をもとに円滑に実施でき、当クラブの社会奉仕活動の一助とすることができた。

滋賀県司厨士協会の協力により、子ども食堂で集いや交遊の機会を提供できた。

新聞、TV等での報道

・2024年9月3日の「子ども食堂スタッフ研修会&交流会」について、京都新聞に掲載された



事業予算	651,980	円
事業執行額	651,980	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会 委員長

氏 名 : 杉岡 定弘

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「あかりで紡ぐライトアップ事業」メタセコイア並木を魅力的に！						
実施日	2024年11月～2025年4月		↑継続事業の場合		年		
実施場所	滋賀県高島市マキノ町牧野地区 メタセコイア並木						
協力団体	「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」						
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	40 %		
	市民	30	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

目的) 滋賀県高島市マキノ町牧野地区の「メタセコイア並木」には多くの観光客が来られます。その周辺のライトアップを行い、今以上に魅力的にすることで、メタセコイア並木を単なる観光資源としてのみならず、地域のシンボルとして輝かせることで、街の魅力を広く伝えたいと思います。
 事業内容) メタセコイア並木の並ぶエリア北部の3か所（南部 交差点そば、中央 駐車場そば、北部 地域会館そば）に照明を設置しました。毎日夜間2時間のみ照明を灯すものと致しました。地域の方と共にテスト点灯を開始し、2025年4月に設置を実施致しました。

事業結果

牧野地区の方には大変な思い入れのあるメタセコイア並木を、地域のシンボル足らしめん、ことを目指したこの事業ですが、地域の方にご指導をいただき、また主導を頂くことに気を配りました。地域の方の意見、能動的な動きに重きを置いた結果として、クラブメンバー全体の意見を取り入れることは難しくなりましたが、社会奉仕委員会メンバーを中心としたメンバーの意見を事業へ取り入れることが出来ました。地域のシンボルをより明るく照らし、地域の宝に育てていくというこの事業の素晴らしいことは、クラブ週報やクラブ例会で逐一報告をすることでメンバー全体へ共有を致しました。近年、自治体消滅への危惧、限界集落の多さなどの報道が目立つ地方において、地域の宝を照らすことで、持続可能な地域に育つように心より願っております。地方部に拠点を置くロータリークラブが、その地域へ果たすべき役割の大きさを感じた事業でした。



新聞、TV等での報道

今のところ御座いませんが、今後は地域の方に認知していただくことも踏まえ、マスコミの方に報道、紙面掲載などを願いしていきたいと考えて居ります。

事業予算	1,782,660	円
事業執行額	1,785,660	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

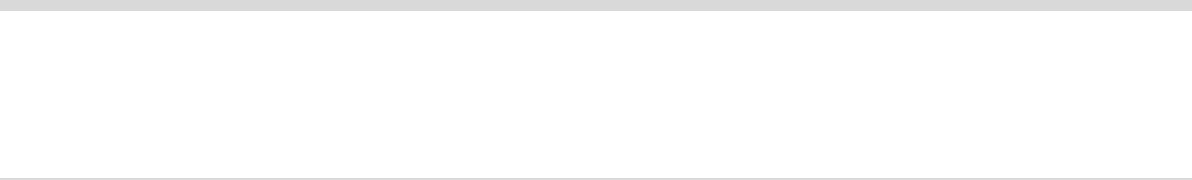
2024-25年度

野洲

ロータリークラブ

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 武田勝次
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	子ども食堂さんとBBQ食事体験				
実施日	2024年12月21日	↑継続事業の場合	3	年	
実施場所	なかさとコミュニティセンター				
協力団体	野洲RC、				
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	48 %
	市民	220	名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	<p>クラブテーマ『未来を紡ぐ』がテーマでありその担い手である地域の子ども達とBBQを通じて子ども等に食事の準備から片付けまで皆で協力し合い友達や地域の方々と触れ合いながら過ごす時間の楽しさやあたたかさを感じてもらう為バーベキュー食事体験を開催いたしました。</p>				

事業結果	<p>子ども食堂さんや他のボランティア団体さん、子ども、保護者、地域活動家達総勢220名と共に準備から食事、片付け、演奏会を同時に同一会場で開催出来たことで子どもにはもちろん他の参加者にも楽しんでいただきまた地域奉仕を継続しているロータリーの奉仕の精神を広められたと感じています。</p>  	
新聞、TV等での報道		

事業予算	416,480	円
事業執行額	416,480	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 熊木 巖
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	県内産木材を使った公共ベンチ設置プロジェクト				
実施日	2024年11月13日(水)		↑継続事業の場合	年	
実施場所	アル・プラザ平和堂八日市店 研修室				
協力団体					
参加人数	会員	28	名 →→ 会員参加率	62.2 %	
	市民	10	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

八日市南ロータリークラブ社会奉仕委員会では、歴史ある近江鉄道の中で地域のシンボルでもある新八日市駅舎に、東近江市産木材を使った公共ベンチ設置のプロジェクトを実施しました。講師として辻良樹氏をお招きし、近江鉄道の歴史を学ぶ市民フォーラムを開催いたしました。

事業結果

講師の辻 良樹氏による「近江鉄道の歴史を学ぶ」の講演では我々が認識していなかった近江鉄道の歴史や課題など学ぶ事ができました。



新聞、TV等での報道

事業予算	71,113	円
事業執行額	71,113	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 熊木 巍
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	県内産木材を使った公共ベンチ設置プロジェクト		
実施日	2025年3月17日(月)	↑継続事業の場合	年
実施場所	近江鉄道新八日市駅		
協力団体	一般社団法人 近江鉄道線管理機構		
参加人数	会員 市民	15 12	名 名
	会員参加率 33.3 %		
	その他 一般社団法人 近江鉄道線管理機構5名		
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

地元自治会との清掃活動、近江鉄道の歴史について学ぶ市民フォーラム開催後、新八日市駅内にて県内産木材を使った公共ベンチの贈呈式を行いました。



事業結果

鉄道利用者に憩いの場の提供と鉄道利用の促進。



新聞、TV等での報道

滋賀報知新聞・中日新聞及び近江鉄道線管理機構ホームページに掲載されました。

事業予算	456,500	円
事業執行額	456,500	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 植田健史

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	がんばれ野球少年少女！球春応援プロジェクト						
実施日	2025年1月26日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	桜井南小学校						
協力団体	桜井市軟式野球連盟						
参加人数	会員	20	名	→→ 会員参加率	44 %		
	市民	200	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

地域の少年野球に参加する子どもたちの支援を目的として、元プロ野球選手による野球教室を行いました。参加チームそれぞれにキャッチャー道具一式を贈呈いたしました。

事業結果

多くの子どもたちに加えてチーム関係者に参加いただき、また保護者の皆様の見学も多く活気あふれる一日となりました。事業の準備、運営を通じて地域の皆様との交流も深まり公共イメージの向上にも繋がりました。

新聞、TV等での報道

奈良新聞 2025年1月29日 掲載

事業予算	2,000,000	円
事業執行額	1,934,831	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 宮倉 靖幸
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	外国人技能実習生支援事業				
実施日	2024年11月17日（日）12：00～15：30				↑継続事業の場合 年
実施場所	五條市、黒滝村				
協力団体	特に無し				
参加人数	会員	4	名	→→ 会員参加率	20 %
	市民	30	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

地区補助金を利用し、外国人技能実習生同士の親睦を図り、地元住民やロータリアンとの交流により、外国人受け入れに対する理解を深めるよう計画した。

<具体的な内容>

黒滝村、五條市内の散策

昼食会（地域色ある食事の提供）、自己紹介を中心とした交流会、地域の特産である柿をテーマに柿狩りの実施

事業結果

五條市内の事業所から多数申し込みがあり楽しい時間を体験してもらいました。費用面では財団補助金を利用させていただき、このような有意義な活動ができました。



新聞、TV等での報道

特に無し

事業予算	370,000	円
事業執行額	365,149	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 紺谷 康朋
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血奉仕活動事業						
実施日	2025年5月18日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	大和西大寺駅前三和シティビル駐車場						
協力団体	奈良県赤十字血液センター						
参加人数	会員	8	名	→→ 会員参加率	100 %		
	市民	75	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

献血ボランティアは、病気や怪我で輸血を必要とする人々の命を救う重要な活動であり、社会全体にとって欠かせない支援の一環です。今回、当クラブより献血協力者にお礼品として食パンを用意し、献血の支援呼びかけを行いました。



事業結果

8月5日、令和6年度奈良県献血功績者表彰式にて当クラブは厚生労働大臣表彰状をいただきました。5月18日（日）大和西大寺駅前三和シティビル駐車場にて、献血活動を行いました。会員全員出席していただき、また、会員のご家族様にも献血や、呼びかけにご協力いただきました。お陰様で、献血された人数が今までの最多の75名になりました。あらためて善意ある献血をしていただいた方々に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	50,000	円
事業執行額	237,359	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 豊田博樹
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	2025年 大阪・関西万博例会						
実施日	2025年5月23日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	大阪夢洲						
協力団体							
参加人数	会員	34	名	→→ 会員参加率	67 %		
	市民		名				
	その他	会員ご家族 11名					
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

今年度は2025大阪・関西万博が開催され、それに伴い、社会奉仕委員会・職業奉仕委員会の合同で、大阪・関西万博見学を行いました。「万博」は世界中からたくさんの人や物が集まるイベントで、世界各地から英知が集まる場です。共に学び、共に行動する事により、奉仕活動へ繋がればと思います。



事業結果

見学当日は、万博開催以来最多入場者数を記録した日で、パビリオンの事前予約も取れなかつたが、グループに分かれていくつかのパビリオンを巡り、充実した時間を過ごすことができた。天候にも恵まれ、体調不良を訴える方もおられなかった。
 ・軽食を配布することで、参加者全員の昼食を確保できた。それによって、スムーズに会場内を見学することができた。
 ・入退場では、入場時はゲートにより要する時間が異なったが、無事に全員が入場した。退場時は特記すべき事項はなかった。



新聞、TV等での報道

特になし

事業予算	300,000	円
事業執行額	260,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 前川貴洋

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	おいですよ！冒険の森						
実施日	2024年8月25日（日）		↑継続事業の場合		年		
実施場所	奈良市青少年野外活動センター						
協力団体	NPO法人奈良地域の学び推進機構、フードバンク奈良 奈良RAC、奈良IAC、奈良大学						
参加人数	会員	40	名	→ 会員参加率	30 %		
	市民	110	名				
	その他						
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他						

事業目的及び事業内容

生活に困窮しているひとり親家庭の子どもに対して、今後の人生を生きていく上での糧となるような親子での忘れられない夏休みの思い出を作つて貰う。
奈良市の青少年野外活動センターにて親子で木工クラフトやフィールドビンゴなどの各種のイベントを実施する。

事業結果

生活に困窮しているひとり親家庭の子供たちに、青少年野外活動センターにおいて地域学びの森推進機構の指導の元、自然と触れ合うことにより自然の大切さ、環境への気づかいを学びました。木工クラフト・フィールドビンゴ・棒パン作り・バーベキュー・花火などの各種イベントを参加者全員で実施することで親子での夏休みの思い出を作つて頂きました。



新聞、TV等での報道

奈良テレビ
8月26日 毎日新聞
8月27日 奈良新聞



事業予算 1,600,000 円

事業執行額 1,073,288 円

この事業の主な財源 (複数回答可) 地区補助金 グローバル補助金 クラブ資金 クラブ以外からの寄付 その他

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 前川貴洋

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	おいですよ！春日の杜				
実施日	2024年12月22日（日）	↑継続事業の場合 年			
実施場所	春日大社				
協力団体	春日大社、一般財団法人奈良の鹿愛護会 フードバンク奈良、奈良RAC、奈良IAC				
参加人数	会員	32	名	→→ 会員参加率	25 %
	市民	100	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容	<p>生活に困窮しているひとり親家庭の子どもに対して、今後の人生を生きていく上での糧となるような親子での忘れられない冬の思い出を作つて貰う。</p> <p>春日大社にて鹿寄せ見学や正式参拝、クリスマスパーティなどの各種のイベントを実施する。</p>				

事業結果	<p>生活に困窮しているひとり親家庭の子供たちに、春日大社で奈良の鹿愛護会の協力の元、地元である奈良の文化にふれて頂こうと鹿寄せ・鹿苑の見学・鹿角ストラップ作りを実施しました。また、春日大社の正式参拝やクリスマスパーティなどの各種イベントを参加者全員で開催することで親子での楽しい冬の思い出を作つて頂きました。</p> 				
------	--	--	--	--	--

新聞、TV等での報道	<p>12月23日 読売新聞 12月23日 奈良新聞</p> 				
事業予算	700,000	円			
事業執行額	803,431	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 清水 豪
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	近鉄奈良駅周辺清掃奉仕事業				
実施日	2024年10月16日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	近鉄奈良駅周辺				
協力団体	なし				
参加人数	会員 13 名	→→ 会員参加率 59 %			
	市民 名				
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input checked="" type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				
事業目的及び事業内容					
<p>10年以上前に実施してきた清掃奉仕事業を復活させることで、会員相互の親睦を図りつつ 変わりゆく奈良を捉えて新たな活動のヒントとするべく、清掃奉仕事業を実施する。奈良 駅周辺を回り主に路上のゴミを分別収集する。</p>					

事業結果					
<p>荒天が懸念されたが天気も持ちこたえ、幅広い世代の会員の参加を得て安全に事業を実施 できた。</p>					
 					

新聞、TV等での報道					
<p>なし</p>					
事業予算	8,000 円				
事業執行額	3,793 円				
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 清水 豪
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血奉仕事業				
実施日	2025年3月16日	↑継続事業の場合 年			
実施場所	近鉄奈良駅周辺				
協力団体	日本赤十字社 奈良献血ルーム				
参加人数	会員	13	名	→→ 会員参加率	59 %
	市民	名			
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input checked="" type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容	本年は献血ルームを活用して献血奉仕事業を行った。				
------------	--------------------------	--	--	--	--

事業結果	準備したノベルティがあつという間になくなり、予定より早い事業終了となった。事前に献血ルームと数量の打合せを行っていたが、想定を超える来場者があり良かった。				
	 				

新聞、TV等での報道	なし				
------------	----	--	--	--	--

事業予算	77,920 円			
事業執行額	54,624 円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他			

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 丸山佳映

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	災害時における避難所開設訓練						
実施日	2024年11月10日		↑継続事業の場合		年		
実施場所	奈良市総合福祉センター						
協力団体	奈良市社会福祉協議会						
参加人数	会員	18	名	→→ 会員参加率	78.3 %		
	市民	50	名				
	その他						
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

奈良市社会奉仕協議会に災害時に使用する防災用品を寄贈し、また奈良市総合福祉センターで行われる地域イベントに参加し、関係者、障害者の方々、一般の市民の方に対して、寄贈した防災用品（簡易テント、シャワー、ベッド、発電機等）を使用方法と共に公開するイベントを行う。その活動を通じ地域社会との共生、福祉活動への貢献、災害時の地域社会の被災の軽減、防災意識・知識の共有を行う。また、そのことによりロータリークラブを認知してもらい理解を深めてもらう。

事業結果

地域イベントで行われていた飲食の出店やダンス披露イベントとも合いまり、当クラブの社会奉仕活動も盛況の中で行うことができ、参加者の方に喜んでもらえて事とロータリークラブの認知ということにおいても目的を達成することが出来ました。



新聞、TV等での報道

今回は行っておりません



事業予算	944,315	円
事業執行額	944,315	円

この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金	<input type="checkbox"/> グローバル補助金	<input type="checkbox"/> クラブ資金	<input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付	<input type="checkbox"/> その他
----------------------	---	-----------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	------------------------------

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 山口尚紀
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	レスキューキッチンの備えと避難所設営訓練		
実施日	2025年2月16日	↑継続事業の場合	年
実施場所	奈良市立大宮小学校		
協力団体	奈良市、奈良市立大宮小学校、奈良市消防局、消防団、大宮地区防犯協議会		
参加人数	会員 35 名 →→ 会員参加率 51.47 %		
	市民 750 名		
	その他		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input checked="" type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

近年、自然災害の発生頻度が大幅に増加しています。いつ起こるかわからない災害に、わたしたちは備えや訓練が十分にされているかなど不安な要素もたくさんあると思います。防災活動として、備えや被災者支援の訓練を実施して知識や経験を積むことの必要性があります。地区防犯協議会や消防局、消防団と連携しておくことで、スムーズな支援活動に繋がると考えます。そして官民一体で訓練することで、共通認識を持ち、更なる知識と意識が生まれます。また地区補助金を活用し、地元消防団に避難場所で炊き出しなどに使用する災害用大型調理システムを寄贈し、地域に安心の備えになればと思います。

事業結果

当日は地区協議会、奈良市の事前の案内の効果もあり予想を上回る700名を超える地域のみなさんが来場されました。はしご車の乗車、起震車などの体験ブースでは、終始長蛇の列でたくさんの方に体験していただきました。また300食用意していた災害用大型調理システムを使った豚汁の炊き出しは、すごく美味しいと好評で大変喜んでいただけました。災害時における対策は、地域全体で考える課題です。今回のような防災訓練を行うことで、官民の一体感が生まれ、共通の意識や知識が養われたことだと思います。そして自分たちで命や暮らしを守らなければいけないという考えも必要だと感じました。今後クラブとしても地域の防災の支援のきっかけになったと思います。



新聞、TV等での報道

奈良テレビ放送、奈良新聞、ならどっとFM

事業予算	1,577,440 円
事業執行額	1,413,564 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 中谷 房代
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	桜井MORIMORIプラン		
実施日	2024年11月16日	↑ 継続事業の場合	年
実施場所	奈良県立商業高等学校		
協力団体	桜井市 桜井市商工会 三輪そうめん協同組合		
参加人数	会員 10 名 →→ 会員参加率 90.9 %		
	市民 20 名		
	その他 30名		
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

桜井市のさらなる発展のため、様々な視点からのアイデアを募集するために、県内の高校生にお声がけをし、桜井市の魅力をどのようにして発信していくべきかというアイデアを出していました。

事業結果

応募作品の中から、これは！という作品を選考させていただき、プレゼンテーションをしていただきました。紙面だけではなく、実際にアイデアを披露していただくことにより、アイデアの具現性が高まり、その中で最も魅力的な作品を最優秀作品とさせていただきました。その後、メディアへの露出を通じ、世間への周知を行い、また、次年度のプランの実現に向けたお手伝いもお約束いたしました。それにより、持続的に地域活性化への奉仕ができると考えています。



内田会長挨拶



会場の様子



入賞者と集

新聞、TV等での報道

2024年11月25日 毎日新聞朝刊に掲載



事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 中山健志
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	地域の子供たちと楽しく農業を知ろう		
実施日	2024年10月27日	↑継続事業の場合	年
実施場所	農業法人のどか村		
協力団体	大和郡山母子・寡婦福祉会 白百合会		
参加人数	会員 16 名 →→ 会員参加率 40 %		
	市民 32 名		
	その他 平城京ロータリークラブ 2名		
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他		

事業目的及び事業内容

近頃の子供達は農業に触れることができ少なく、まして土を触ることにも積極的ではない。農業の現場を見ながら、農業にも関心をもってほしい。のどか村で様々な野菜や果物がどのようにして育っているのかを見てほしい。また、ICT農業についても講義をしていただき最近の農業事情も理解してほしい。

事業結果

参加者は皆さん楽しく過ごしていただきました。バーベキューも子供たちはとっても楽しんでいただきました。ジャムづくりや、サツマイモ堀などを行いました。サツマイモ堀では土に触ることにどんな反応があるのか注意深く観察しましたが、楽しければ苦にはならないようでした。



新聞、TV等での報道

大和郡山RC ホームページ

事業予算	391,505 円
事業執行額	391,505 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他

報告者 役 职 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 郡山 尚

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	地域中核医療機関への車椅子の寄贈				
実施日	令和6年10月24日 (木)	↑継続事業の場合		10	年
実施場所	(社福) 恩賜財団 済生会中和病院				
協力団体					
参加人数	会員 市民 その他	23 名 当該病院役職員	→→ 会員参加率 名	100	%
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

医療、福祉事業への貢献で地域の持続発展に寄与。
 本事業は、秋の「健康週間」に併せ、2015年(H27年)から実施、過去9年間に43台の車椅子を寄贈、
 今回3台の寄贈で46台の実績。

事業結果

地域の福祉の充実を目指す10年連続の事業は、地域の住民に喜ばれ、新聞等でも取材あり、病院関係者や患者の方からも評判良く使っていただいている。



新聞、TV等での報道

奈良新聞社の取材あり

事業予算	126,000	円
事業執行額	126,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 松下年成
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	引退支援犬支援				
実施日	2025年5月29日		↑継続事業の場合	5	年
実施場所	奈良県葛城市NPO法人「日本サービスドッグ協会」				
協力団体	奈良県葛城市NPO法人「日本サービスドッグ協会」				
参加人数	会員	27	名	→→ 会員参加率	100 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	<input type="checkbox"/> 1.人間尊重 <input type="checkbox"/> 2.地域発展 <input type="checkbox"/> 3.環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同奉仕 <input type="checkbox"/> 5.その他				

事業目的及び事業内容

奈良県葛城市NPO法人「日本サービスドッグ会」に支援金を授与し 引退した盲導犬 聴導犬など支援犬の引退後が穏やかであるようにと願い支援している協会へ引退支援犬支援金寄付。

事業結果

奈良県葛城市NPO法人「日本サービスドッグ会」に支援金を授与しました。
 引退した盲導犬 聴導犬など支援犬の引退後が穏やかであるようにと願い引退後のサポーターを探したり紙おむつや補助具にかかる費用などを支援している協会へ引退支援犬支援金（50,000円）を寄付しました

新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 吉岡 弘修
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	大和高田歴史ウォーク「大和高田市のランドマーク”高田川”の歴史を再発見」		
実施日	2025年4月20日	↑継続事業の場合	年
実施場所	大和高田市サザンカホール周辺の市街地		
協力団体	大和高田市教育委員会、大和高田警察署、大和高田ボランティアガイドの会、高田ボーズ、ディアブロッサ高田FC、FMやまと 他		
参加人数	会員 市民 その他	60 165 名	→→ 会員参加率 65.9 %

事業分野 1.人間尊重 2.地域発展 3.環境保全 4.共同奉仕 5.その他

事業目的及び事業内容

地域で暮らす子供達や地域住民に高田川五橋顕彰碑スタンプラリーマップを作成し、大和高田の魅力を再発見すると共に、歴史の理解を深める事、さらに現在のハザードマップに照らし合わせ、いざという時の防災・減災意識を高めていただくことを目的とする事業です。



事業結果

屋外の事業ということで、安全性を重視し、地元警察から指導を仰ぎながらコース設定やボランティアガイドの方の説明内容、ハザードマップとの関連性など様々な角度から準備を重ね、その間下見を含め、多くのロータリアンに係わっていただきました。当日は、150名以上の父兄を含めた小中学生の参加もあり、約1時間20分程度のコースを15組に分けて、ロータリアンも同行の上無事スタンプラリーを終了できました。終了後、お菓子をもらった子供たちの笑顔が印象的でした。



新聞、TV等での報道

2025年4月22日 奈良新聞朝刊に掲載
2025年4月25日 毎日新聞朝刊に掲載
2025年4月25日 中和新聞夕刊に掲載

事業予算	1,300,000	円
事業執行額	1,182,126	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

報告者 役 職 : 会長
 氏 名 : 桐渕 和子
 担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都平和コンサート				
実施日	2024年10月13日			↑継続事業の場合	年
実施場所	京都コンサートホール（アンサンブルホール・ムラタ）				
協力団体	NGO;国際平和と開発機構IPSO				
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	100 %
	市民	200	名		
	その他				
事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1.人間尊重	<input type="checkbox"/> 2.地域発展	<input type="checkbox"/> 3.環境保全	<input type="checkbox"/> 4.共同奉仕	<input type="checkbox"/> 5.その他

事業目的及び事業内容

突然の戦禍と分断が世界を震撼させる今日、ウクライナをはじめとする世界各地からの避難民の方々とその支援者、地域に学ぶ学生、一般市民の皆様を招待し、音楽による心の開放、疲弊した心身の蘇生を目的とし、学生や一般市民にも平和構築への理解が深まり、コンサートを通じた出会いが、避難民の自立に繋がる機会となることを願うものです。第Ⅰ部では、協力団体NGO-IPSOジャンルカ・ボナンゾ代表と、ハングル語在住の元財団奨学生声楽家マルガリトフ・由加子様という二人のロータリアンによる「平和スピーチ」が行われ、第Ⅱ部では、近藤恵子先生指揮、岡崎混声合唱団による「平和コーラス」と、広島原爆のカンタータ「土の歌」より「大地讃頌」の全体合唱が行われました。

事業結果

終了後アンケートでは「平和について改めて考えた、自分の問題として捉えた、戦争がなくなることを祈る、『ウクライナの祈り』を知らなかった、涙が出た、一緒に歌えて嬉しかった等、頂きました。



新聞、TV等での報道

- 京都市総合企画局国際交流・共生推進室共生推進担当より、京都市後援の申請を強く勧められました。後援により、京都市の地下鉄や公共の施設にポスターを貼ることができました。
- 広報はSNSにより行い、終了後ダイジェスト版の作成を含めて、YouTubeに掲載しました。
<https://youtu.be/f51FMjjDGkI>

事業予算	1,298,265	円
事業執行額	1,298,265	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地区補助金 <input type="checkbox"/> グローバル補助金 <input checked="" type="checkbox"/> クラブ資金 <input type="checkbox"/> クラブ以外からの寄付 <input type="checkbox"/> その他	

国際ロータリー第 2650 地区
2024-25 年度 社会奉仕委員会

諮問委員

パストガバナー	佐竹 力總	(京都 RC)
委員長	宮倉 靖幸	(五條 RC)
副委員長	桐木 孝和	(京都洛西 RC)
副委員長	小牧 靖彦	(京丹後 RC)
委員	藤井 弘実	(近江八幡 RC)
委員	市原 洋晴	(宇治 RC)
委員	木村 元	(長浜東 RC)
委員	木村 武史	(大津東 RC)
委員	松村 美貴	(福井フェニックス RC)
委員	大島 國裕	(奈良 RC)
委員	玉村 一男	(武生 RC)
委員	寺本 光宏	(福井 RC)
委員	八木 悠祐	(京都北 RC)
委員	山崎 功詔	(京都西 RC)